

佐世保市 DX戦略実行計画 (令和7年度実績)

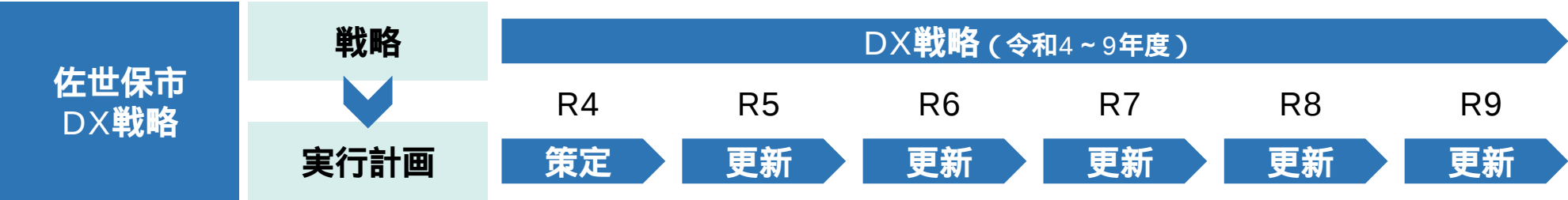
令和8年8月

佐世保市

実行計画の概要

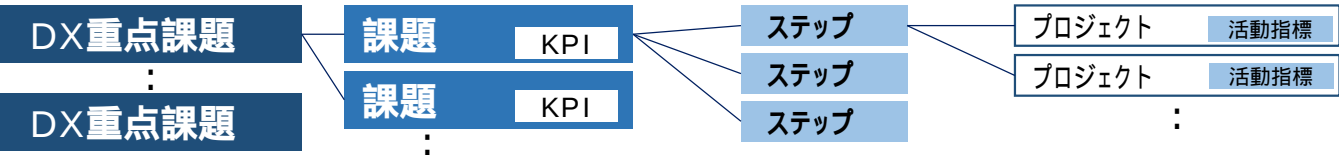
(1) 実行計画の位置付け

本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



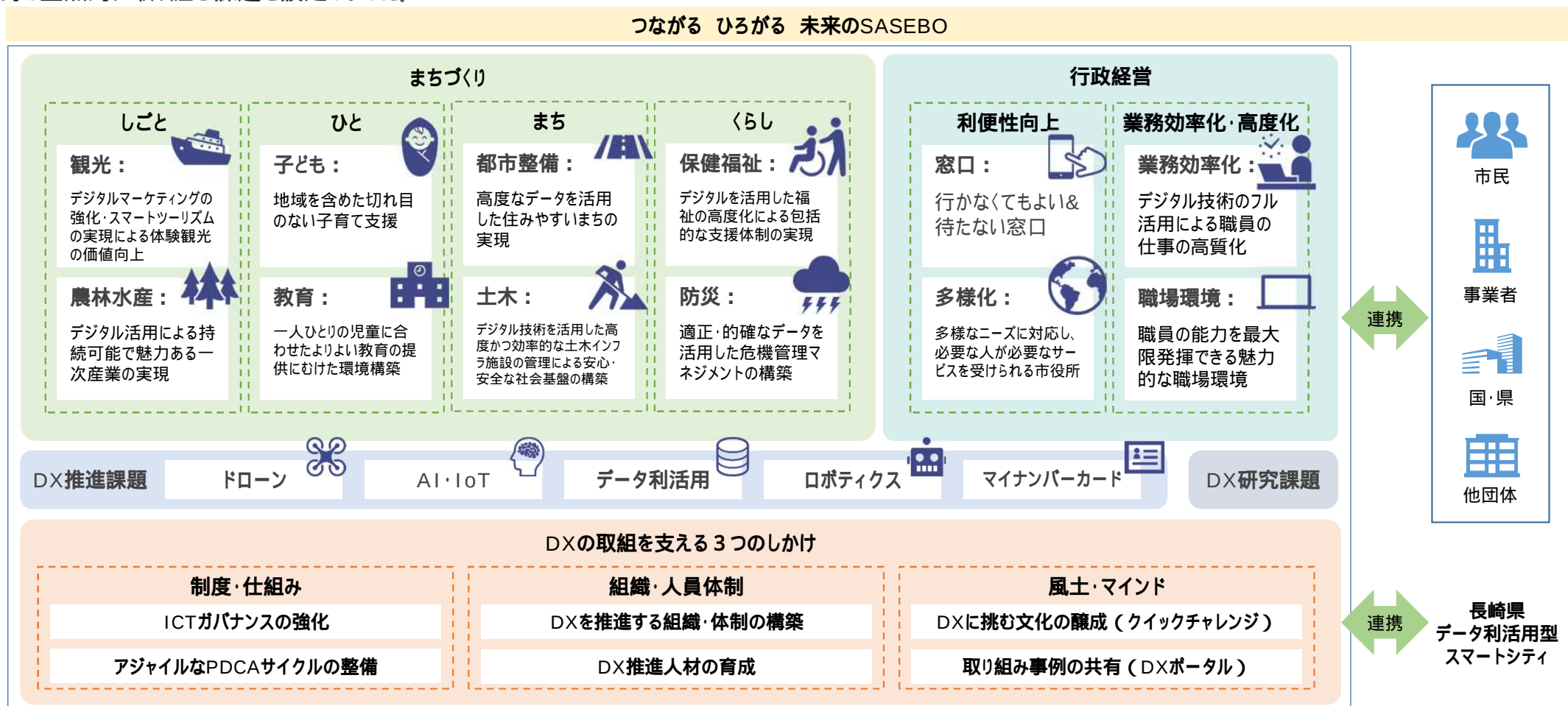
(2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。



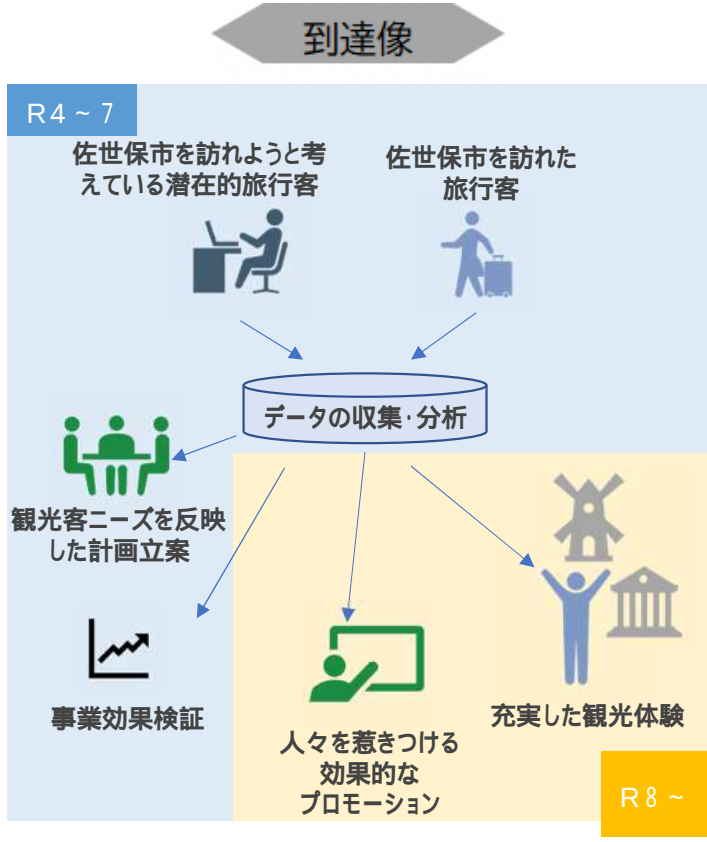
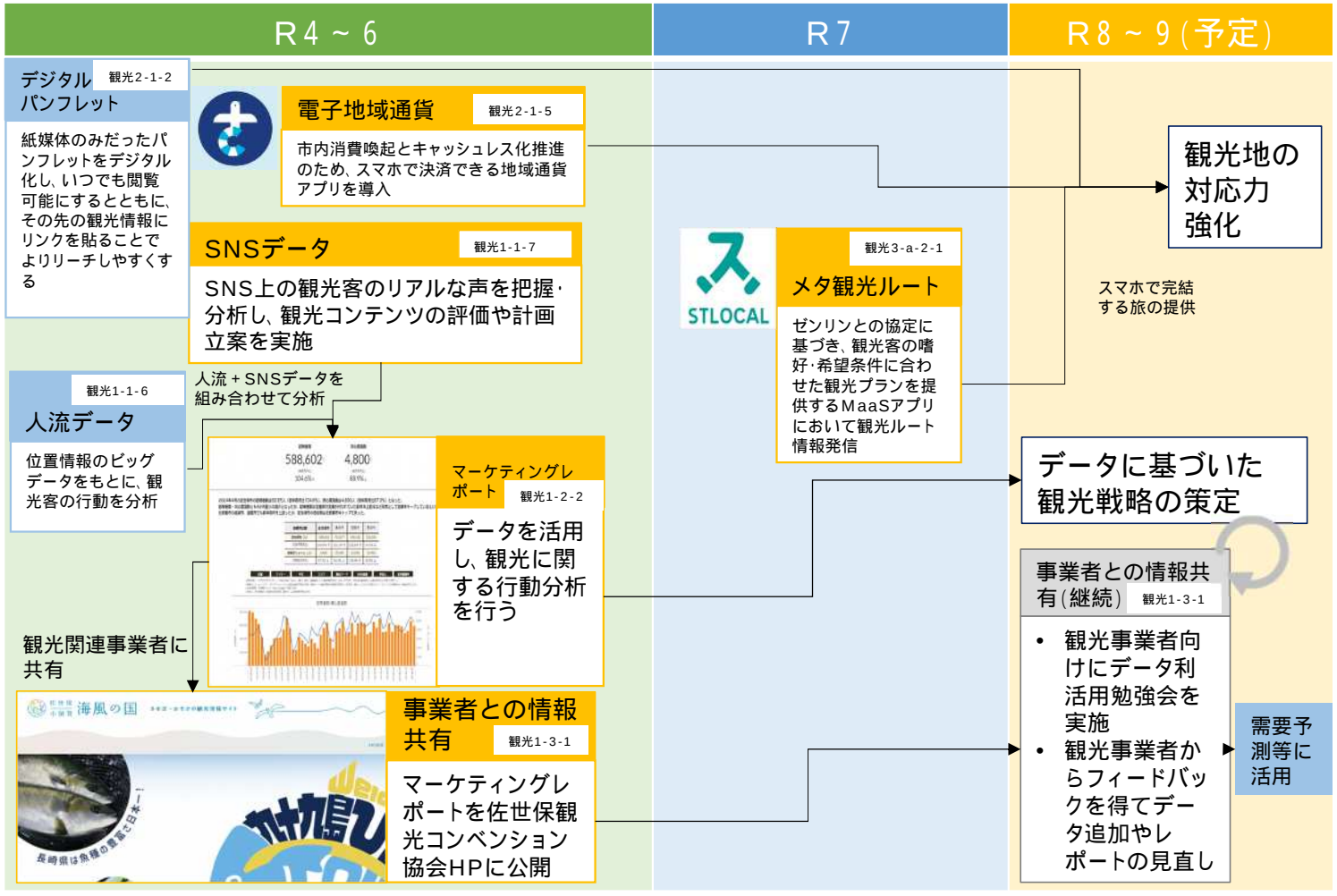
【観光分野】 デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

(進捗概要)

- データ分析による需要予測などを実施し、KPI(データを活用した事業立案数)も7件(目標: 7件)と進捗している。
- 令和8年度以降は、市内事業者ヒアリングを行い、ブラッシュアップしていく。

(令和9年度の到達像)

データに基づくデジタルマーケティングを強化し、スマートツーリズムを実現することによって、観光客を受け入れる側の対応力と、観光客にとっての体験価値がともに向上している。



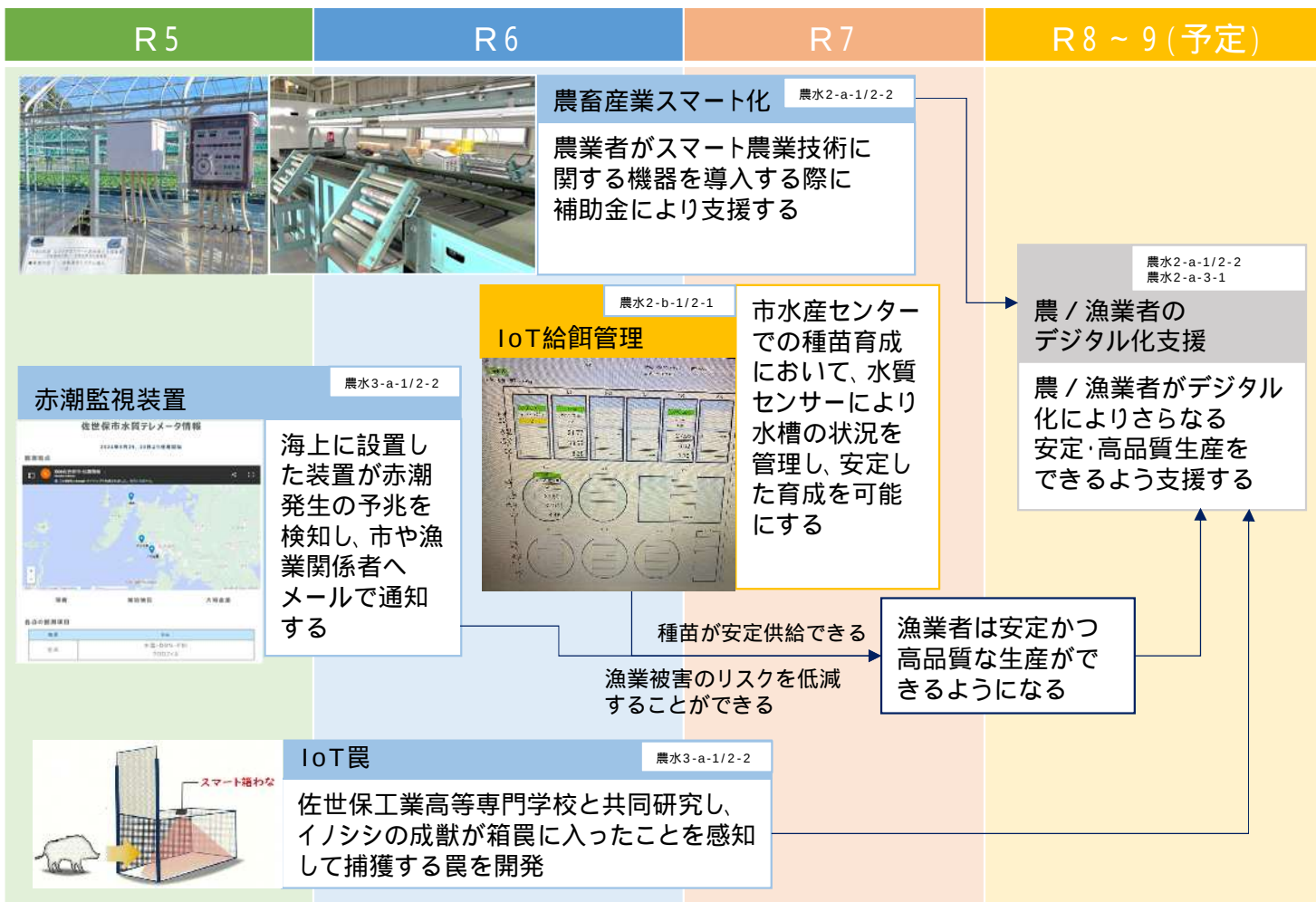
【農林水産分野】 デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

(進捗概要)

- 市水産センターにおいて給餌管理システムを導入し、漁協に販売する種苗の安定供給力を向上させた。
- 令和7年度以降は、農／漁業関係者のデジタル化支援に取り組む

(令和9年度の到達像)

デジタル技術により、農／漁業者の安定かつ高品質な生産が図られる。



到達像



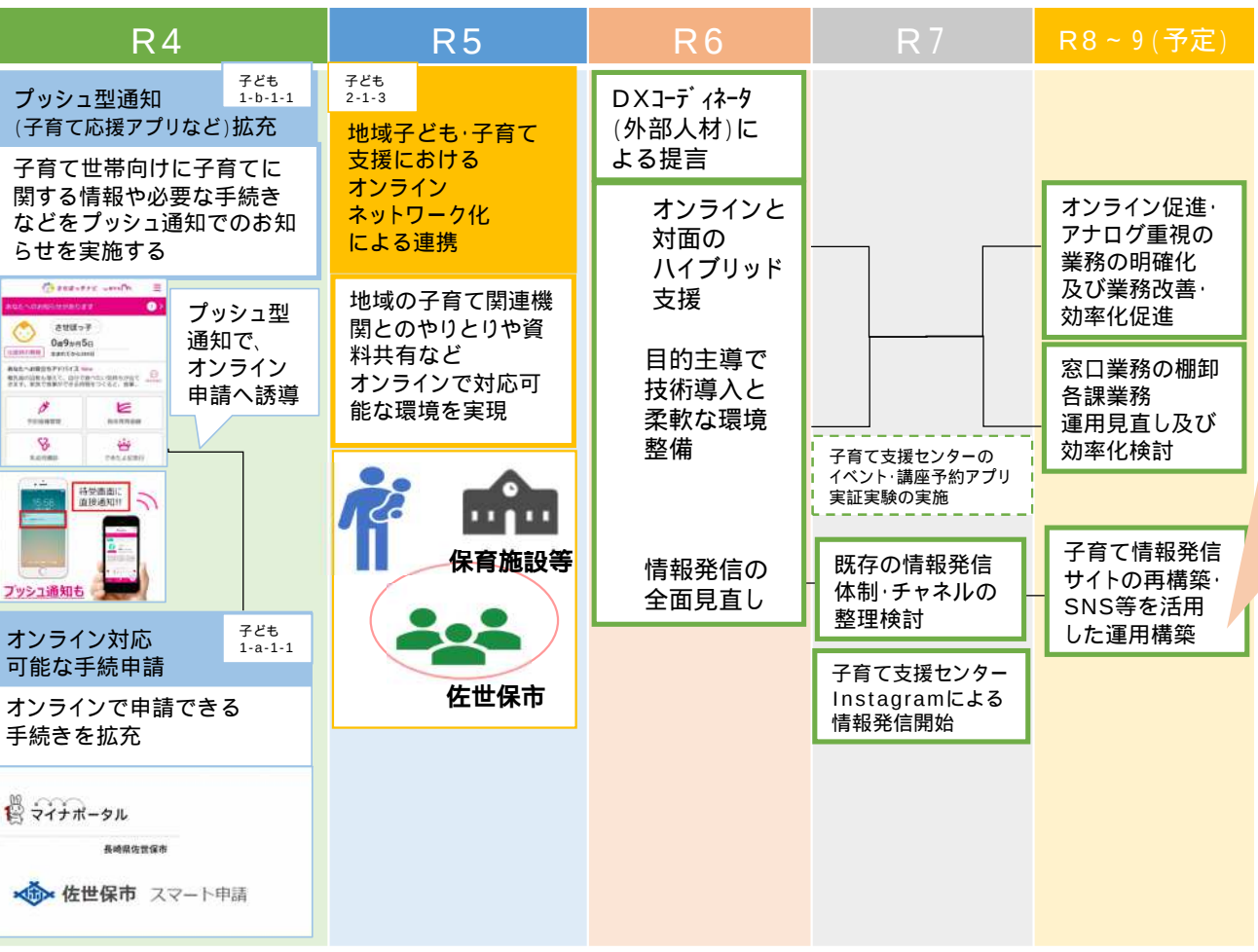
【子ども・子育て】 地域を含めた切れ目のない子育て支援

（進捗概要）

- 母子健康手帳アプリ導入やオンライン申請対応手続きの拡充などを実施しており、KPIオンライン対応手続き数100件は概ね予定どおり進捗
- 令和6年度以降は、到達像の達成に向けて、各利用率の向上に資する対策等を講じていく。

（令和9年度の到達像）

簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現、及び地域一体での子育て支援が実現できている。



到達像

R4 手続きのワンストップ化等による利便性向上
佐世保市

R5 データ活用による地域一体での支援
保育施設等
佐世保市

R6~ **目指す姿**

ターゲット

子育て中の市民
子育て中の市民に対する確実な情報発信
支援サービスの認知度向上
支援サービスの利用促進
子育て支援の満足度向上

子育て当事者以外
(子どもや若者・地域住民・市内外の企業や団体など)
佐世保市の子育て支援のイメージアップのための広報
・佐世保市で子育てしたいと思える
若者の定住者、市外からの移住者の増
・子育て支援への理解、協力
子育て世帯を支える気運醸成

子育て支援サービスの利用促進・利便性向上
子育て支援に対する認知度向上とイメージアップ

実施内容	令和8年度	令和9年度~
子育て専用サイトの構築 (子育て情報を一元化し、探しやすさとわかりやすさを改善)	構築 公開	更新・改善
子ども未来部SNSの運用開始 (動画や画像を活用したわかりやすい情報発信)	準備	運用
子育て手続きガイドを導入 (WEB上で手続き方法や必要書類などを案内)	構築	導入

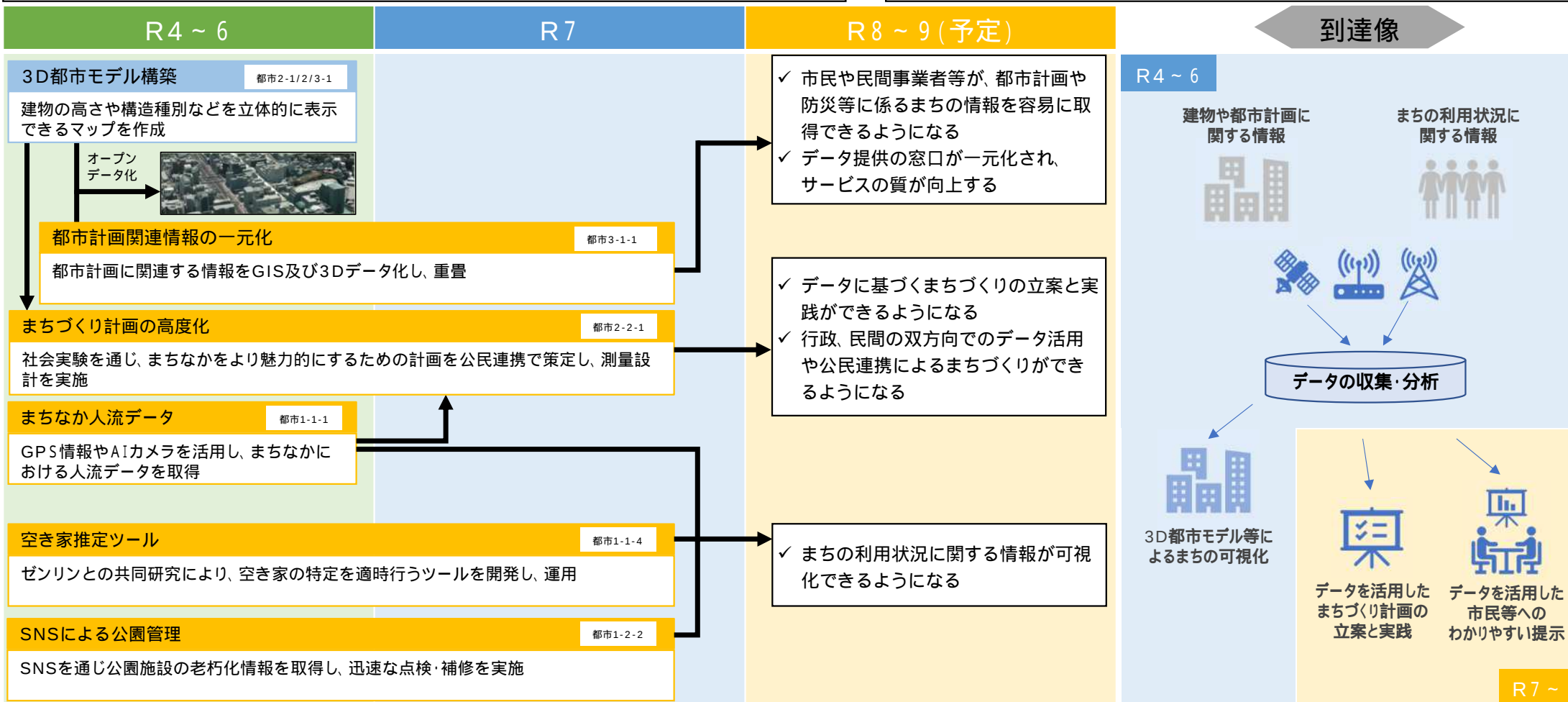
【都市整備分野】 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

〈進捗概要〉

- 平常時と社会実験時におけるまちなかの人流データを取得し、その変化の状況を把握・分析した。3D都市モデルを活用し、将来利用を見据えた。
- まちに関係する各種データを収集、分析、オープンデータ化することにより、各種政策課題の解決を図るとともに、市民／事業者がデータを活用できるようにしていく。

〈令和9年度の到達像〉

- 行政、民間の双方向でまちの様々なデータを活用し、市民の住みやすさ向上のため公民連携のまちづくりを進めることができる。
- 市民や民間事業者等が、都市計画や防災等に係るまちの情報を容易に取得することができる。

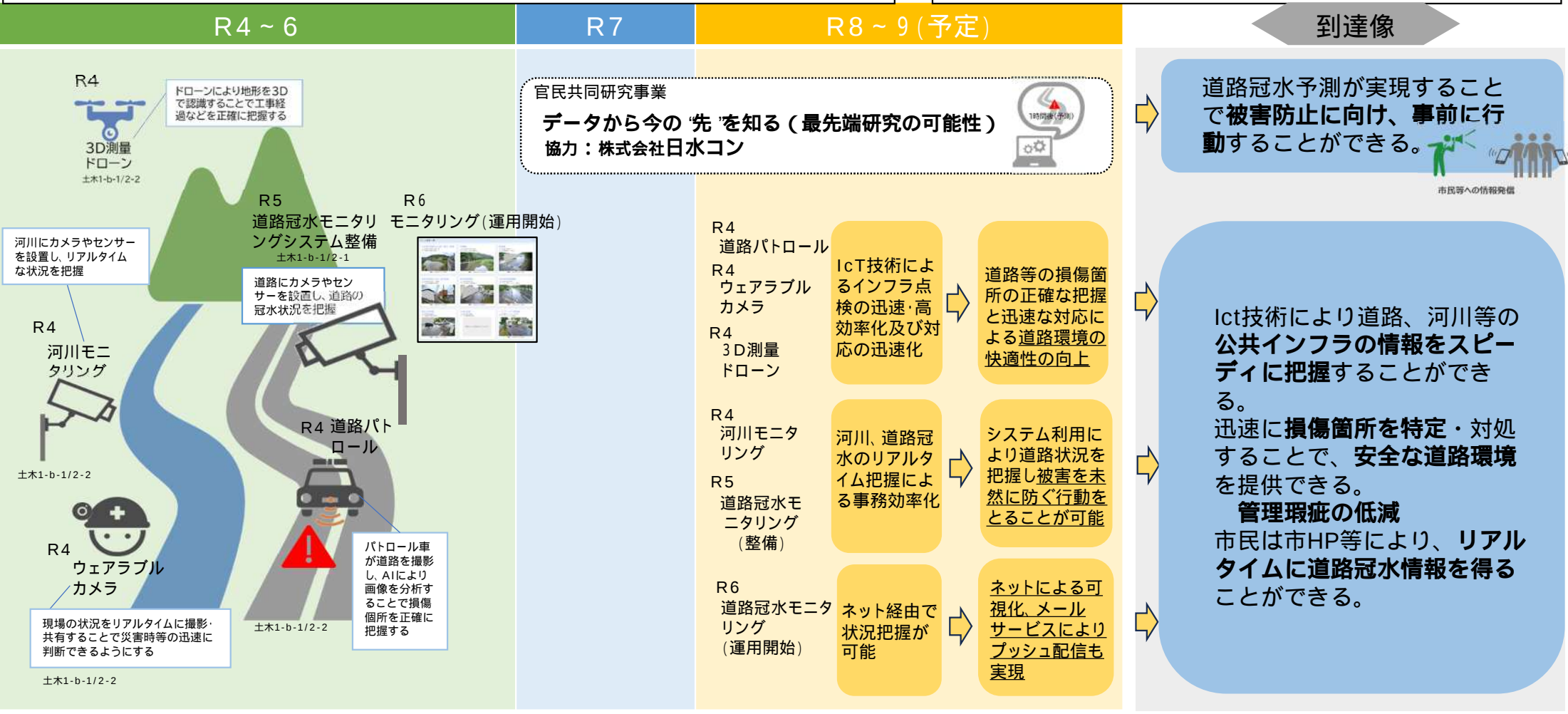


【土木分野】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

- (進捗概要)
- R4～R5:土木インフラの状況把握のため、デジタル技術を活用(予定箇所配備済)
 - R6:モニタリングの運用開始により、ネット経由での状況把握、メール通知実現
 - 令和7年度以降は、インフラ管理のデータ分析を推進し、冠水予測の実現を目指す

(令和9年度の到達像)

公共インフラ情報のデータ化が進んでおり、インフラに起因するトラブルが少ない安心・安全なまちになっている。



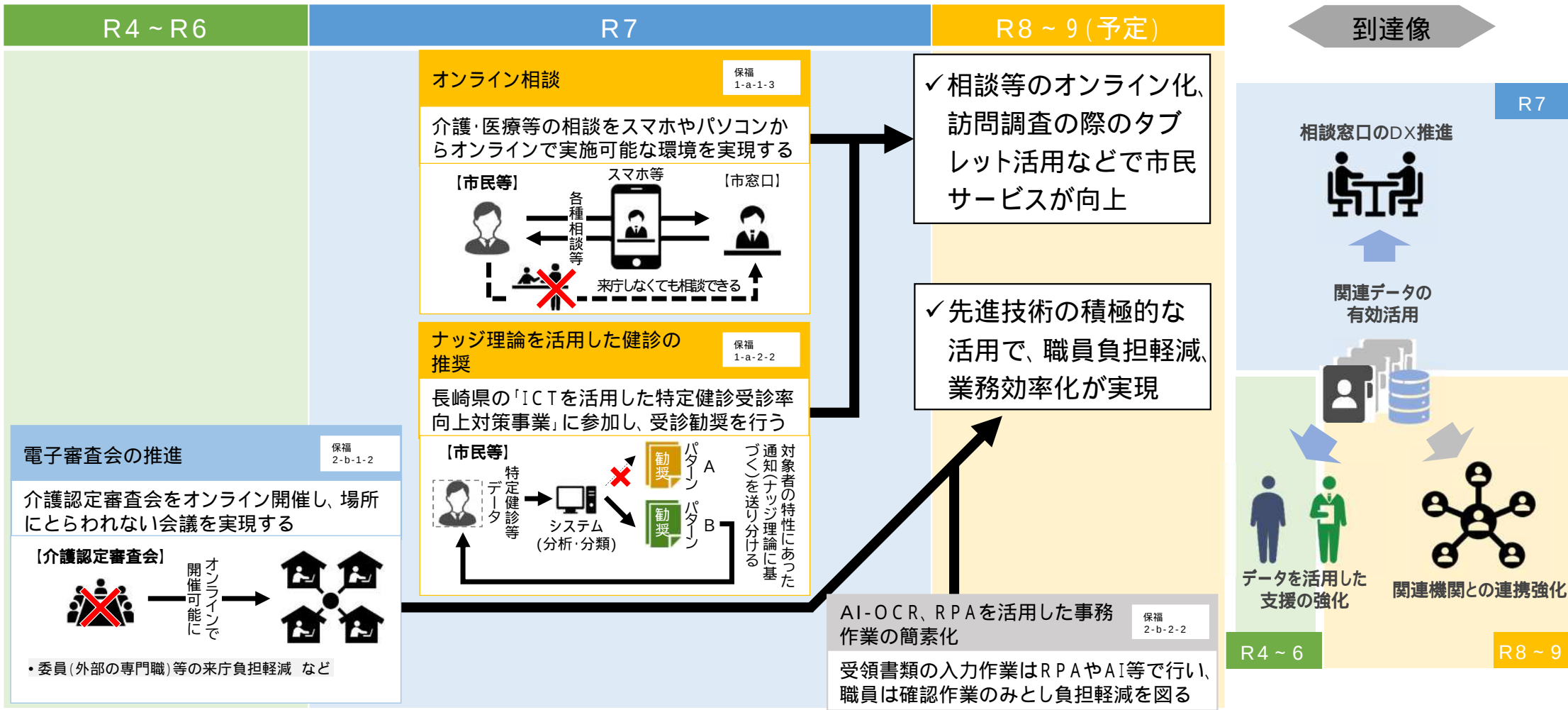
【保健福祉分野】 デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

(進捗概要)

- 手続きや相談のオンライン対応を進め、KPIであるオンライン対応手続き数は、ほぼ予定どおり進捗したが、相談窓口数、オンライン申請の利用率が目標を下回った。
- 令和8年度以降は、オンライン対応可能な業務の拡大に努めるとともに、オンライン申請の窓口等での周知を行い、利用率増加を図るなど、先進的ICTの活用を進め、業務効率化を図る。

(令和9年度の到達像)

相談のオンライン化等で市民サービスの向上が実現でき、DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる
先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的な支援体制の構築し、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化される



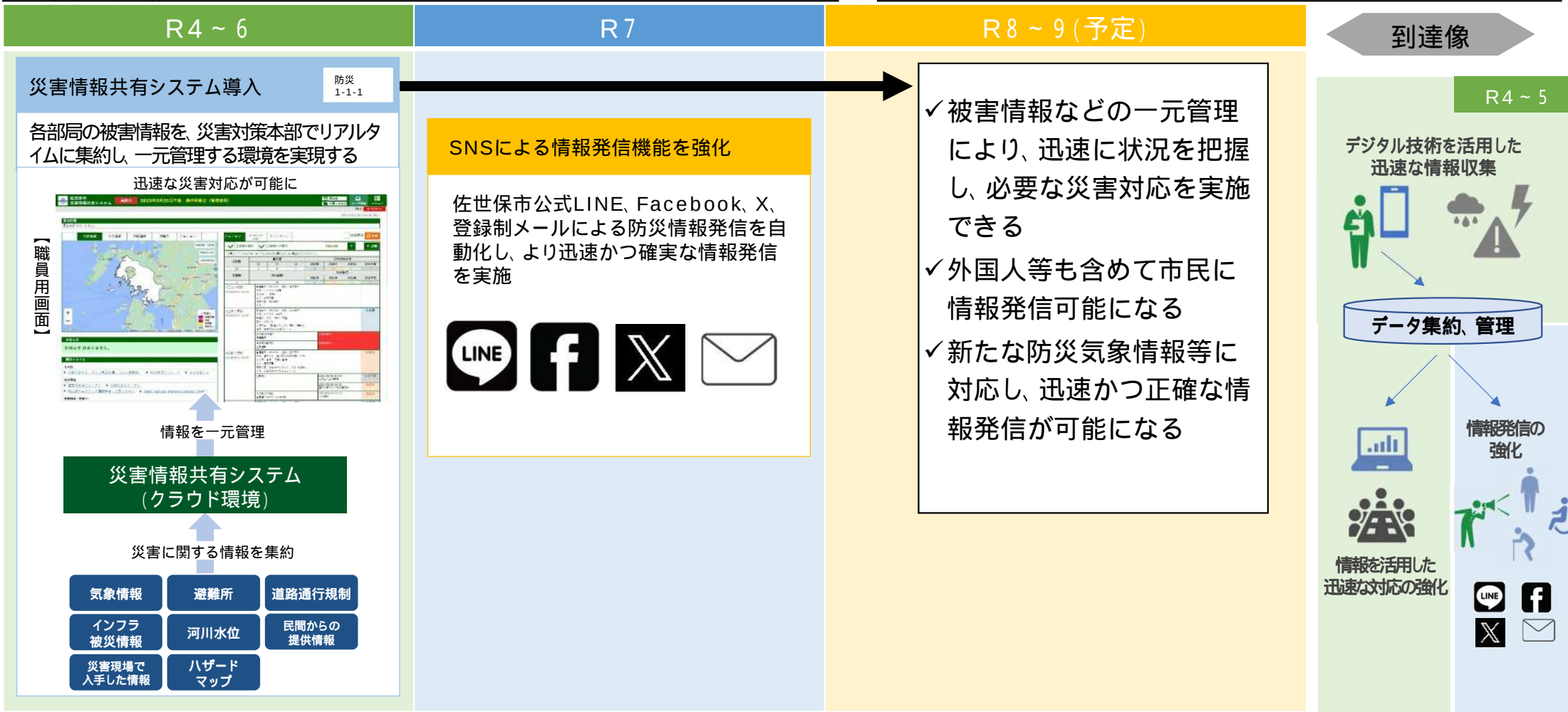
【防災分野】 適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

(進捗概要)

- 令和5年6月から運用開始された災害情報共有システムを適正に運用した。
- SNSによる情報発信機能を強化し、より迅速かつ確実な情報発信を行った。
- 令和8年度以降も、引き続きシステムの活用して、迅速な応急対策やタイムリーな情報発信を行っていく。

(令和9年度の到達像)

令和8年度に改正される新防災気象情報等に対応するほか、災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる多様な市民へも対応できる情報発信ができています



【窓口分野】 行かなくてもよい&待たない窓口

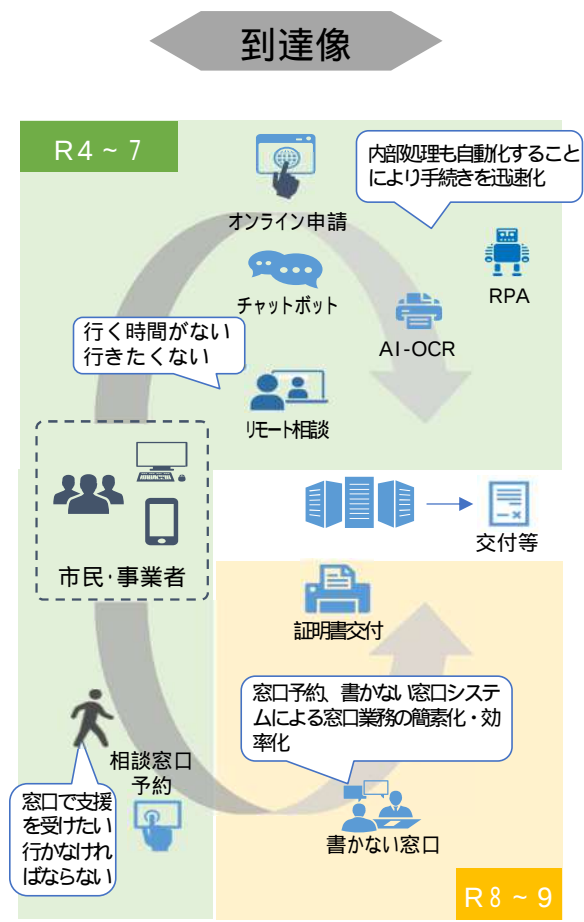
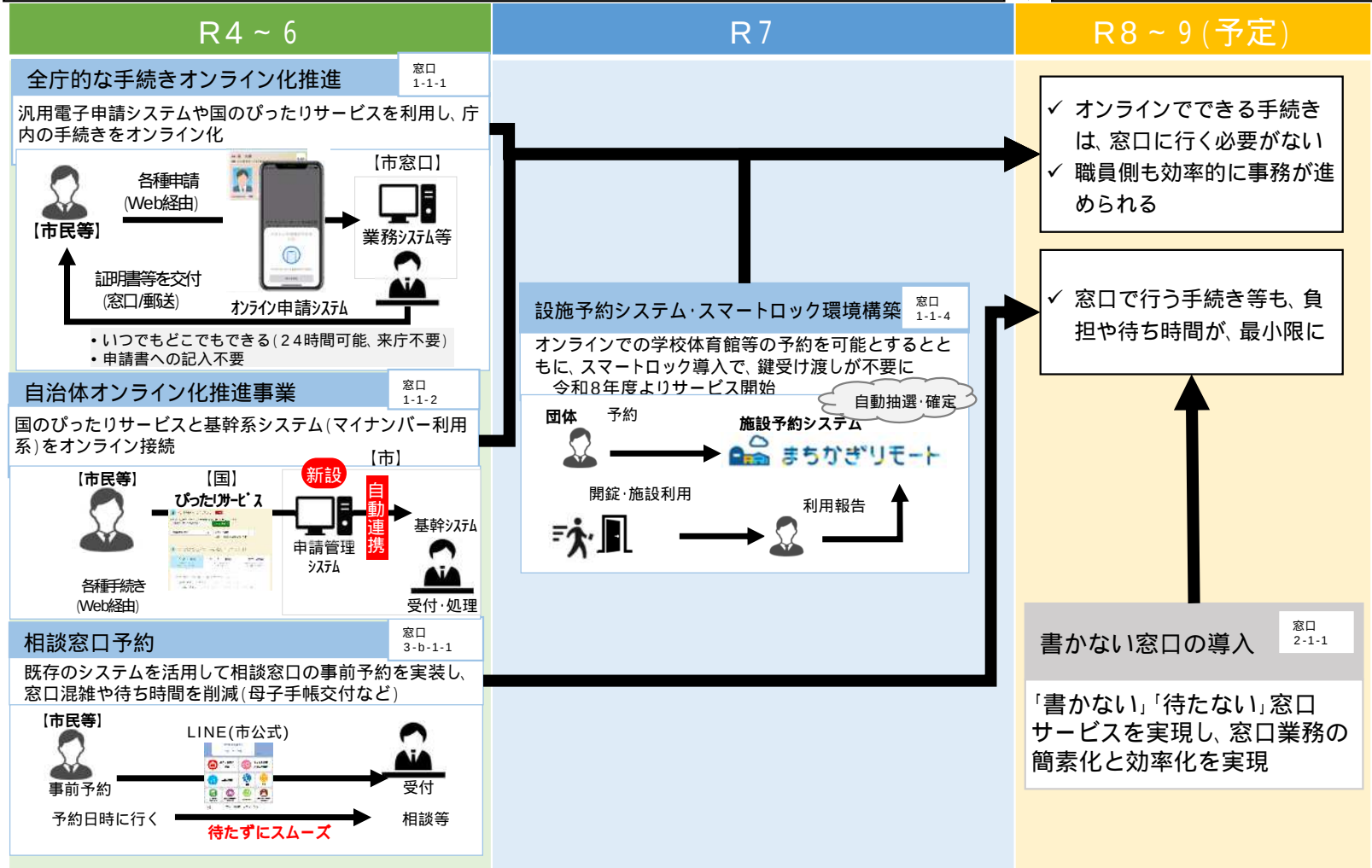
(進捗概要)

- オンライン相談の拡大が遅れた一方、クルーズ船入港予約システムがKPI(乗降人員数)を上回る成果を収め、窓口予約もKPI(対応手続き数)を大きく達成するなど、オンライン化による窓口の利便性向上が進んだ
- 令和8年度以降、書かない窓口の導入および業務効率化に取り組み、さらなるオンライン手続き拡大や手続きの迅速化を目指していく

(令和9年度の到達像)

窓口に行く時間がない、行くことが困難な市民・事業者は、手続きをオンラインで行うことができる

窓口での手続き等も最小限の待ち時間でサービスを受けられる



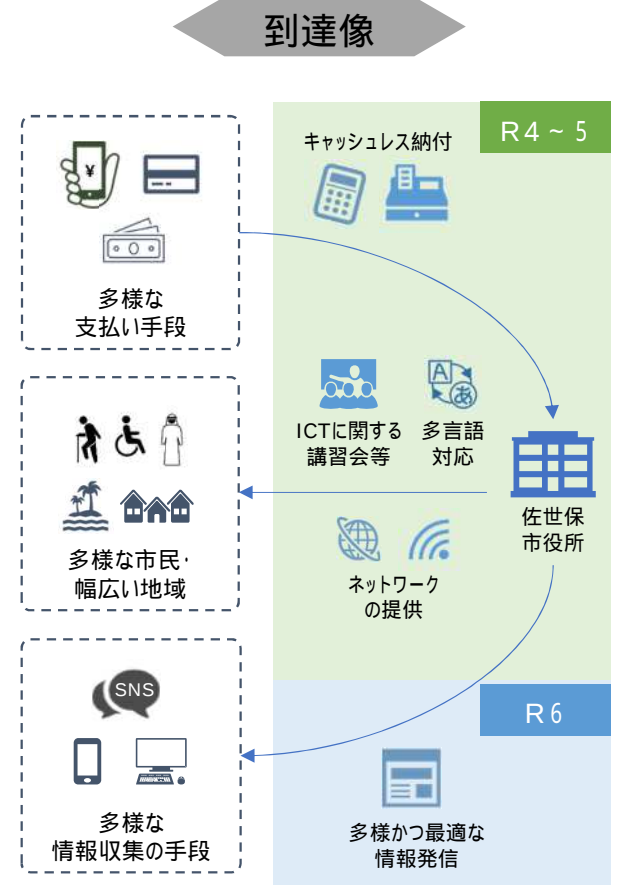
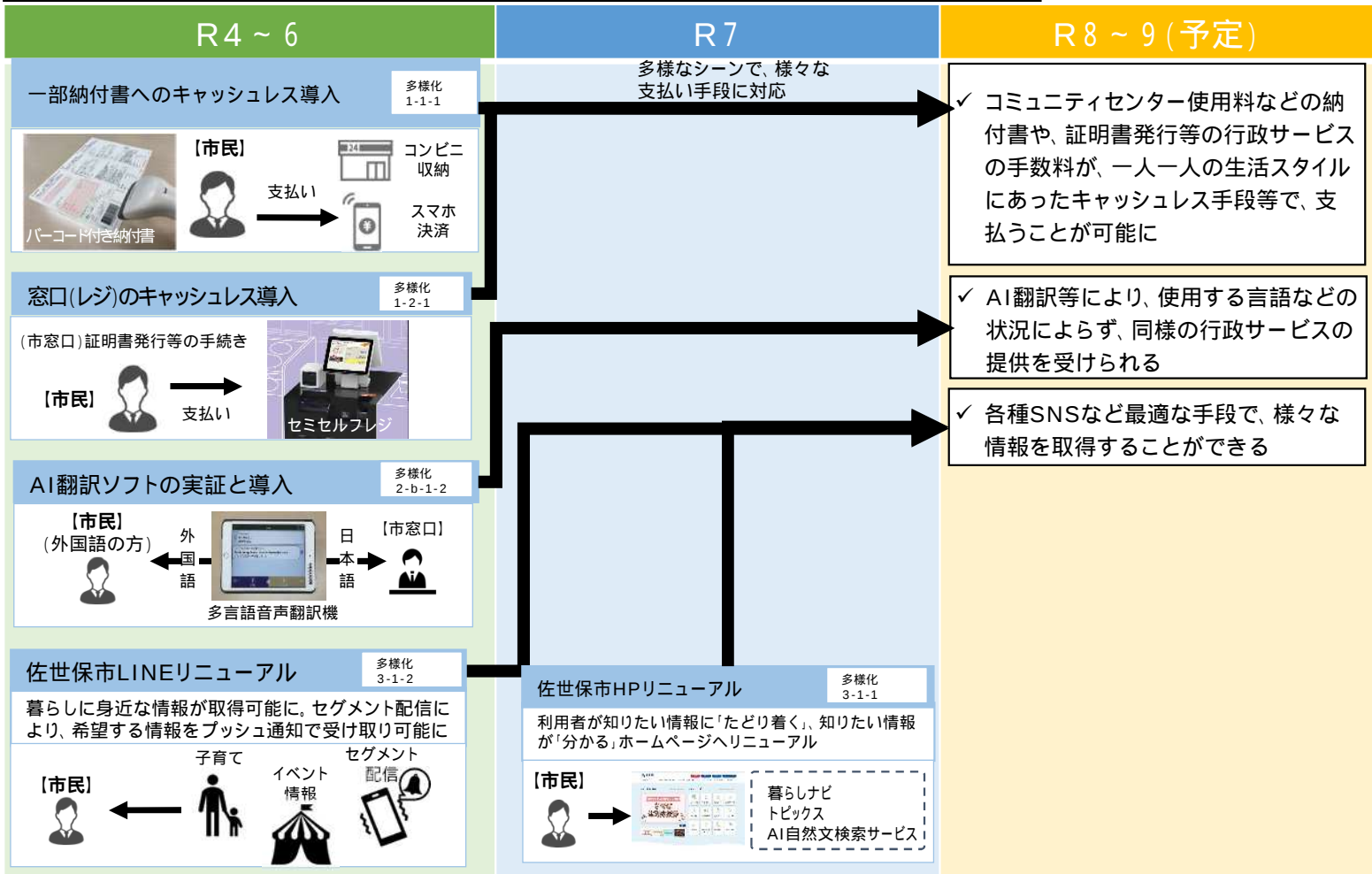
【多様化分野】 多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所

(進捗概要)

- HPリニューアルにより、利用者が知りたい情報へスムーズにたどり着き、内容をより理解しやすいホームページへと刷新
- 納付書や窓口手数料のキャッシュレス化を実施したが、利用率は納付書：4.2%、窓口：18%にとどまっている
- 今後もキャッシュレス決済利用率の定着・向上を目指し、周知・広報を行っていく

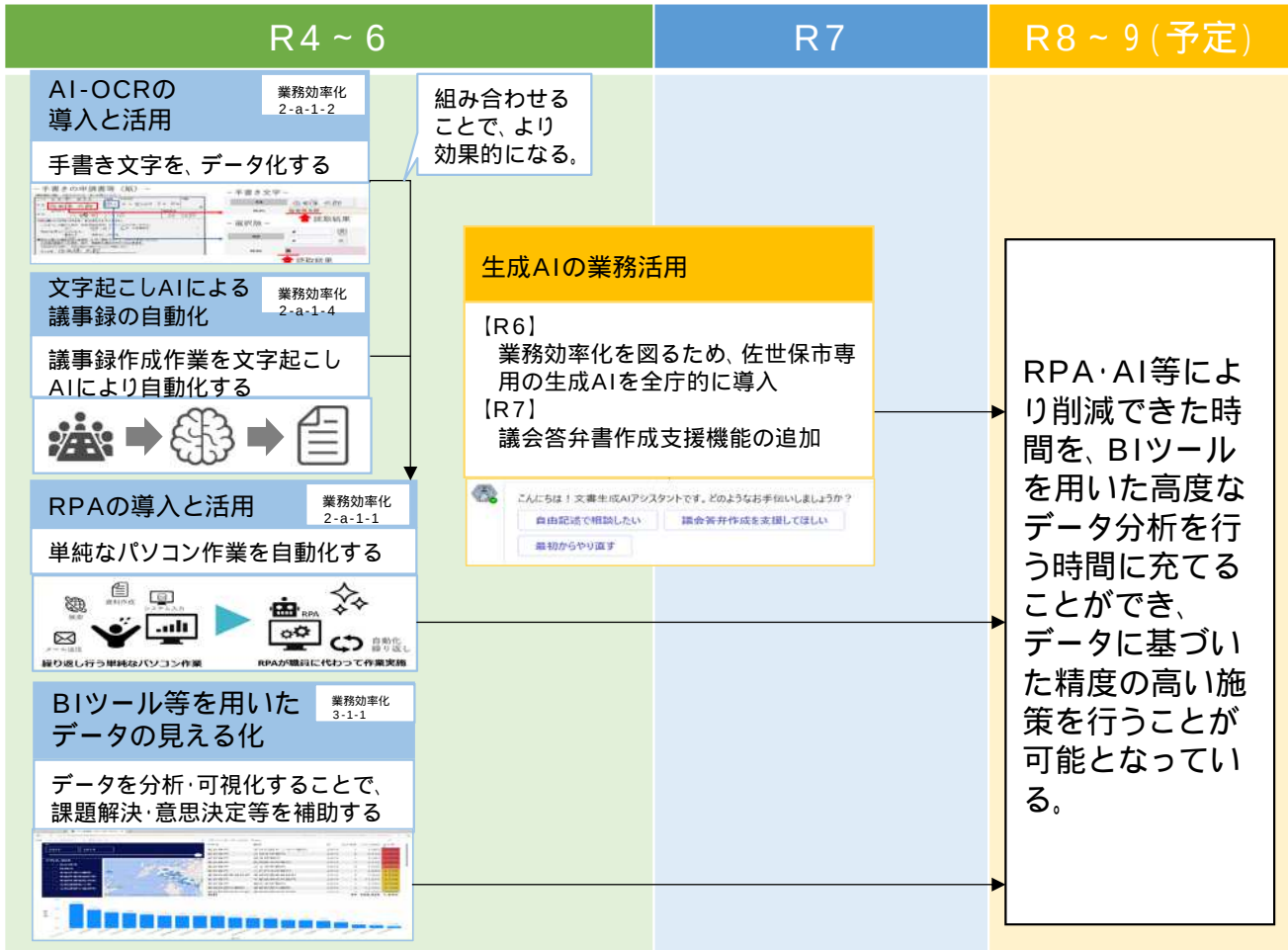
(令和9年度の到達像)

市民・事業者は、行政サービスの各種支払いでキャッシュレスを選択できる。また、年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受できる。市役所が発信する情報を最適な手段で取得することができる。



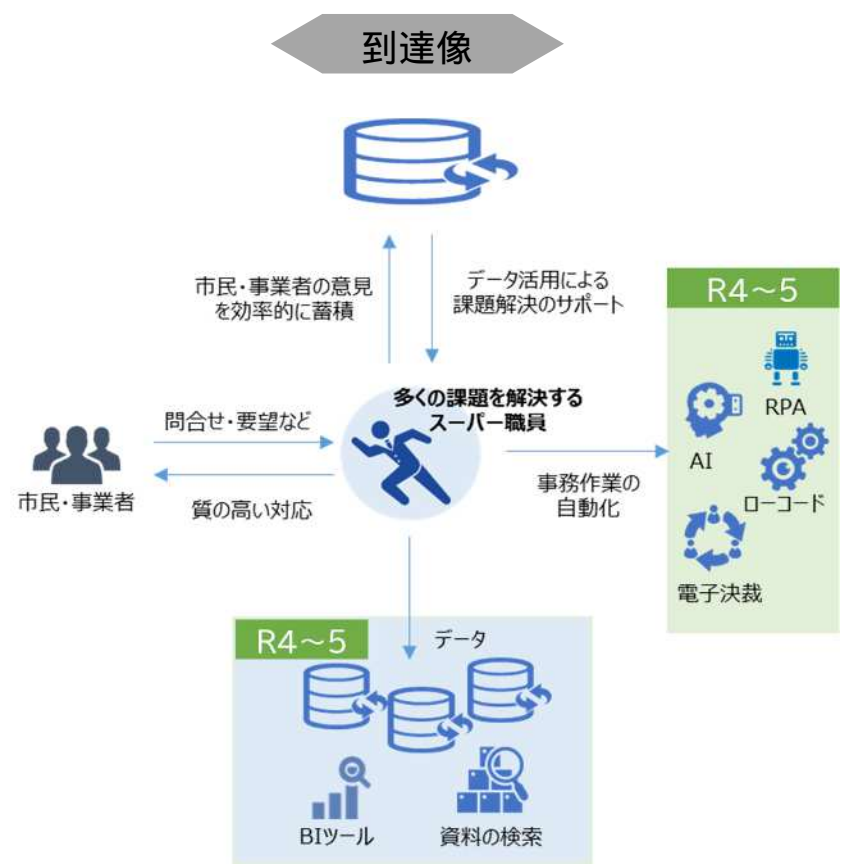
【業務効率化分野】 デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

- (進捗概要)
- RPA・AIやBIツールなどを導入しており、KPI3件(RPA等による削減効果時間、電子決裁率、データの見える化対応業務数)は概ね予定どおり進捗。
 - KPI1件(広聴システムでの満足度)が目標値に達していないため、市民等からの意見を施策へ反映させる仕組みづくりを進めていく。
 - 令和8年度以降は、到達像の達成に向けて、各種ツールを職員が活用できるよう育成等に取り組む。



(令和9年度の到達像)

単純な事務作業は自動化・効率化されており、職員が様々なデータを利活用し、職員にしかできない課題解決等の業務に注力できている。



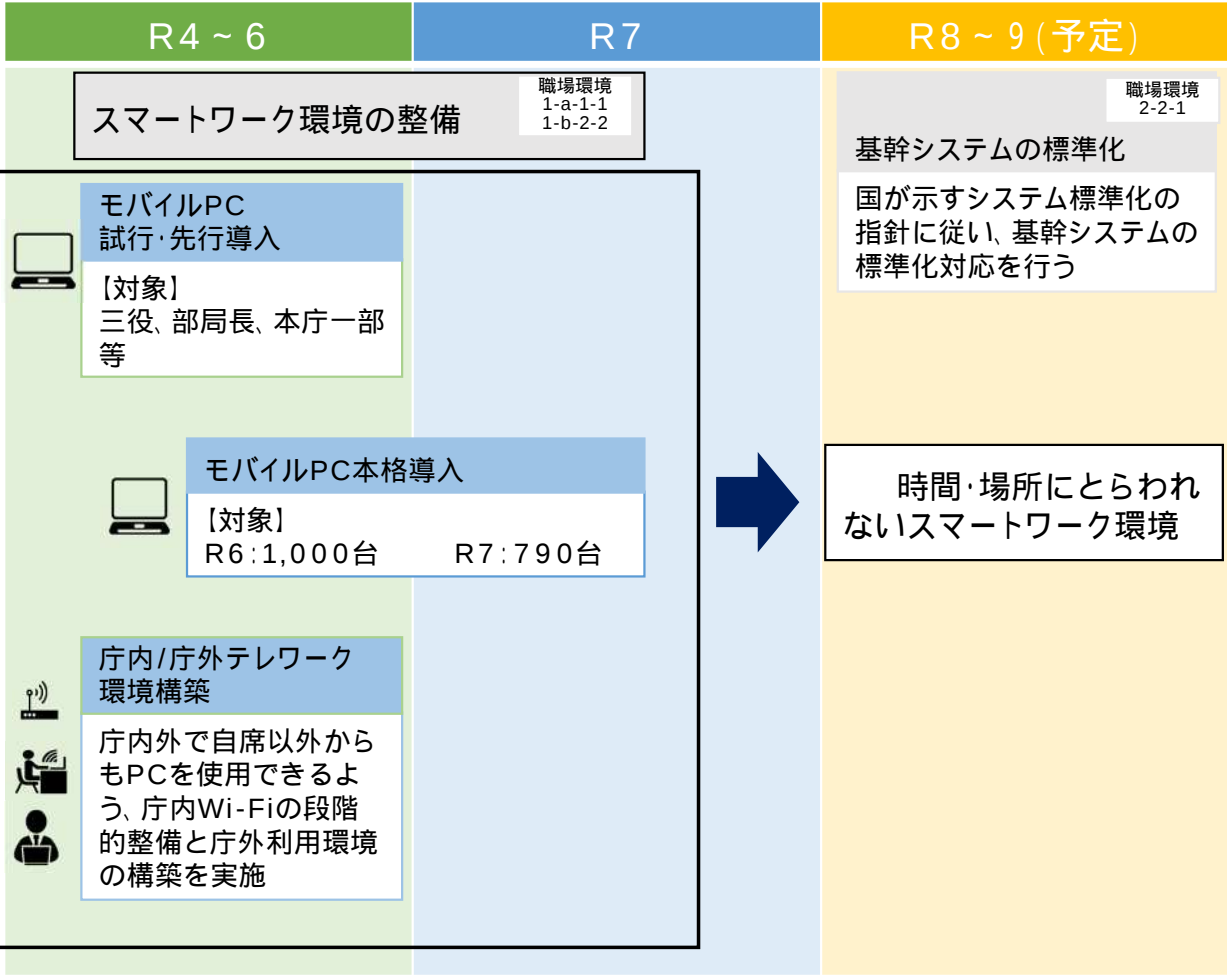
【職場環境分野】 職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

(進捗概要)

- モバイルPC導入・テレワーク環境整備などを実施しており、KPI2件(オンラインコミュニケーションの利用率、ペーパーレス度)は予定どおり進捗している。
- 令和8年度以降は、到達像の達成に向けて、導入済みのツールについて、職員がより活用できるよう取り組み、併せて標準化対応も行う。

(令和9年度の到達像)

職員の働き方が変革され、市民サービスの向上や事務の効率化がなされている。



01 «まちづくり»

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析						■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。 ■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。
	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援						
	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス						
	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析						
	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画						
	1-2 データに基づいた戦略の策定						
	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム						
	【観光1-2-2】データ分析による需要予測						
【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測							
1-3 事業者と連携した地域の観光力強化							
	【観光1-3-1】事業者等との情報共有						
デジタルプロモーションの推進	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化						■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。 ■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。
	【観光2-1-2】デジタルパンフレット						
	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み						
	【観光2-1-4】デジタルマップの活用						
	【観光2-1-5】各種商品券の電子化						
	2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進						
【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入							
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)						■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。
	3-a-2 メタ観光ニーズへの対応						
	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供						
	3-b-2 最適な移動手段情報の提供						
	【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01 «まちづくり»

02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組めている。 ■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現			2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農薬散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化				■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。 ■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。
安心・安定して生産できる環境の整備			3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業				■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。 ■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請						
	1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						
	【子ども1-b-1-1】プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充						
	1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化						
【子ども1-2-1】オンライン申請利用率の向上							
地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進						■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。 ■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)						
	2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析						
	【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携						
	2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応						
	【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理						
	【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用						

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

04【教育】一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	1-a モラル教育及びセキュリティの充実 【教育1-a-1-1】フィルタリングソフトの導入	1-b 教員の学びの知見の共有化 【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業		1-c 校務の効率化支援 【教育1-c-1】AIドリルの導入			■1人1台端末を活用することで、学習に関する時間や距離、環境に関する制約を排除するとともに、先進技術の活用により、個々の児童生徒に合わせた学習環境が実現できている。 ■児童生徒が課題解決過程において、整備された環境を活用した深い調べ学習による、情報収集・選択・分析過程、他者やグループの協働を通じて編集し、取りまとめた成果を発表（表現）するなどの過程を通じ、創造性や社会性を育む学習が可能となっている。
校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	2-1 校務の効率化支援 【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業						■デジタルを活用した校務の効率化により、児童生徒に対する学習指導や生活指導等、教職員が本来注力すべき業務に注力できるようになっている。
保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	3-1 保護者等とのコミュニケーションの基盤の整備 【教育3-1-1】学校・家庭間連絡システムの導入						■保護者等との連絡にデジタルを活用し、円滑かつ漏れのないコミュニケーションを実現することで、学校と保護者等との連携を強化し、学校・家庭・地域一体となった児童生徒への支援体制が構築できている。

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

05【都市整備】高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	1-1 まちづくり計画に必要な人流情報の把握	【都市1-1-1】人流データの把握	【都市1-1-4】空き家状況の把握				■人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。 ■行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。
3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	2-1 3D都市モデルの活用	【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務	2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信				■取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。 ■データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。
データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）		3-1 土地利活用に関する情報提供システムの一元化	【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム				■市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。 ■データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施 【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム	【土木1-b-2】河川モニタリングシステム	【土木1-b-3】ウェアラブルカメラの活用	【土木1-b-4】道路パトロールの動画活用システム		■ドローンを多目的に活用（空撮・3D測量等）し、i-Constructionを推進している。 ■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。 ■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析	【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム	2-2情報分析に基づくインフラ管理の高度化 【土木2-1-4】データ共有プラットフォームによるデータ管理			■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。 ■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。
インフラ情報のリアルタイム発信		3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信					■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信（公開）が実現できている。

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
気軽に相談できる窓口の構築		1-a-1福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上 【保福1-a-1-3】オンライン相談 1-a-2福祉に関する情報発信の強化 【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨	1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理	1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)			■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。 ■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。
多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	【保福2-b-1-2】電子審査会の推進	2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減		【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用		■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。 ■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。
			2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進		【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化		
				2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現			

01 «まちづくり»

重点課題の進捗状況

凡例： 実施済 当年度実施 今後予定 検討

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析						■ 災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。 ■ 有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。
	【防災1-1-1】災害情報共有システム導入						
	【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析						
	1-2 データ分析に基づく防災計画などの策定						
		【防災1-2-1】3Dデータを活用した防災の周知					
市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信						■ 災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。 ■ 高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信をできています。
	【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信						
	【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02《行政経営》

01【窓口】行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化 【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム 【窓口1-1-4】学校体育館等における施設予約システム・スマートロックの導入 1-2 電子申請における事務処理の効率化 【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携						■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。
書かない/待たない窓口の実現	2-1 窓口での手続きに要する時間の削減 【窓口2-1-1】書かない窓口の導入 2-3 プッシュ型手続きの実現 【窓口2-3-1】LINEによる一人ひとりに合った情報提供						■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大 【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大 3-b-1 相談に係る待ち時間の削減 【窓口3-b-1-1】相談窓口予約						■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
支払のキャッシュレス 対応	1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化						■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー等)を選択することができる。
	【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
	1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化						
	【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入						
	1-3個別システム納付書のキャッシュレス化						
	【多様化1-3-1】個別システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
デジタルデバインド対応	2-a-1 デジタルデバインド対応						■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。 ■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。
	【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援						
	2-b-1情報発信の多言語対応						
	【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張						
	【多様化2-b-1-2】AI翻訳ソフトの実証と導入						
	2-c-1ネットワーク利用可能施設の拡大						
【多様化2-c-1-1】市内公共施設へのWi-Fi環境導入と適切な管理・運用							
情報発信の最適化	3-1情報発信のデジタル化						■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。 ■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。
	【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化						
	【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張						
	3-2利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化						
	【多様化3-2-1】ホームページのリニューアル						

【R7】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02《行政経営》

03【高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の効果的な活用				1-1市民の声収集・活用の活性化 【業務効率化1-1-1】広聴制度の見直し			■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
事務作業の削減・省力化		2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化 【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用 【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用 【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用 【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化 【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進					■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
		2-b-1 内部事務のデジタル化 【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム 【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム					
様々なデータを活用した業務の高度化		3-1 データ利活用環境の整備 【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化 【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業 【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム					■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
		3-2 庁内情報管理の高度化 【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究 【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し					

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証						■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。 ■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。 ■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。 ■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。 ■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大						
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)						
	1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進						
	【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し						
	1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大						
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化						
	1-b-2 情報共有環境の見直し						
	【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)						
	1-b-3 印刷環境の見直し						
	【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し						
	1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し						
	【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査						
1-c-2 スマートワークに適した働き方を見直し							
【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討							
1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施							
【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施							
自治体情報システムの標準化				2-2-1 基幹システム標準化対応			■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。
				【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化			

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
マーケティングレポートの公表を引き続き継続し、市内事業者におけるデータ活用を推進するために、事業者向けのセミナーやヒアリングを行い、マーケティングレポートをニーズに応じた内容に改めていく。 多言語化されたデジタルパンフレットやSNS広告を活用し、国内外の観光客を誘客すると共に、令和6年からSTLOCALへ掲載するモデルコースやおすすめの観光モデルの新規記事の作成を行い市街地以外への周遊を促す。				令和7年度は市内事業者向けに毎月のマーケティングレポート公表に加え、四半期ごとに3カ月分の国内観光動向や佐世保市の観光動態、アンケート調査結果、SNSデータ分析、観光案内所での相談内容などをまとめた分析レポートを作成し、公表した。 また、文化財施設におけるxRの導入の拡大したことによるデジタルプロモーションの推進や市内の学生と連携した市内観光地のモデルコース造成を行うことでスマートツーリズムの推進に寄与した。 今後もマーケティングレポート公表の継続による佐世保市全体の観光力強化とデジタルパンフレット等を活用したプロモーションの推進を図る。		

R7年度の事業総括						
	進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	データ活用による戦略策定と観光力強化	○:予定どおり	マーケティングレポートの公表を引き続き継続すると共に、人流データや既存の観光調査データをクロスさせ分析・検証することで、地域内の状況を把握し、独自の戦略の立案に繋げる。 マーケティングレポート活用のためのセミナーを開催することで市内事業者のデータマーケティングについての意識の醸成を図る。	○:予定どおり	マーケティングレポートを毎月公表するとともに、市内事業者向けのセミナーを実施し、市内事業者に佐世保市の観光動向を説明することで、データ活用の重要性を伝えることができた。 今後も、既存データと新たなデータをクロス分析し、分析内容の一層の充実を図る。	
2	デジタルプロモーションの推進	○:予定どおり	これまでに針尾無線塔、山ノ田貯水池、岡本貯水池等におけるxRの導入を文化財課等と協力しながら行っており、引き続き、その他の施設での導入の可能性を検証する。	○:予定どおり	令和7年度に文化財課と連携し、弓張岳において新たにARを導入した。今後も導入施設の拡大を検討するとともに、導入したxRが利用しやすい形となるよう改善を図っていく。	
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	○:予定どおり	令和6年度にMaaSアプリ STLOCALへ掲載したモデルコースやおすすめの観光モデルについて、令和7年度は情報更新および新規記事の作成を行う。 記事の作成に当たっては、佐世保観光マイスターへ依頼することで、広く認知されていない観光地や飲食店の魅力の情報発信を行う。 また、公式HPやSNS等を活用しPRを行うことで、MaaSアプリ利用者数増加を図る。	○:予定どおり	市内の学生と連携し、新たなモデルコースを造成してSTLOCALに掲載することで、市内観光施設等のPRおよび観光客の利便性向上に寄与した。 今後は、新たなモデルコースの掲載を継続するとともに、既掲載のモデルコースの内容を見直し、整理していく。	

R7年度の目標（総括）	R7年度の実績・評価・今後の対応（総括）
【農業】スマート機器導入においては、新たな品目において要望があるなどスマート化への関心が高いことから、引き続き支援を行う。 【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムを継続して運用し、安心安定して生産できる環境整備を引き続き行う。 【漁業】R6に引き続き、水産センターでの調光システム及び水質センサー3台により効果検証を行う。 【有害鳥獣】R7に開発したデバイスの試験運用の継続及び検証。	令和7年度は、担い手の確保や生産性向上等に向けた取組を進め、一部ではオンライン相談の実施や経営支援体制の強化など、一定の成果が見られた。一方で、新たな経営支援の展開不足や既存施策の浸透による効果の鈍化、鳥獣対策における実証課題など、遅れが生じている分野も確認された。今後は、これらの課題を踏まえ、対象ニーズに応じた施策の見直しと技術活用の深化により、持続的な農林水産業の実現を図る。

		R7年度の事業総括					
		進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	担い手の確保・継続・育成	○:予定どおり		【農業】 オンライン相談は電話や対面での対応が基本だが、新規就農者や農業参入企業の利便性に繋がるようなオンライン活用の必要性について、検討していきたい。	○:予定どおり	令和7年度は、一部オンラインで相談を実施した。 新規就農の相談は複数の担当者で受けることや、相談者ご本人の熱意やお考えを丁寧に把握することも重視しており、その点からも、現時点では対面での相談が望ましいと考えている。 ただし、相談ニーズや環境の変化等も踏まえつつ、今後も引き続き、適宜検討を進めていきたい。	
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	△:遅れている	【漁業】 R6の効果検証がR7予算策定期間に間に合っていないため、目標である令和7～9年度の3ヶ年で残り8基の水質センサーの導入に影響が出る可能性がある。	【農業】「農業のスマート化推進」の4年度として、新たな品目においても要望があることから、環境制御機器等によるスマート化などを中心に次年度以降も引き続き導入に向けて検討し支援する。 【漁業】 ・水産センターでのIoTによる給餌管理実現のため、令和5年度に3基の水質センサーを導入し、実証検証を令和6年度から令和7年度にかけて行う。検証結果を踏まえ、追加の水質センサーを導入を検討する。 ・水産DXに関連する最新機器類の情報収集を引き続き行い、適宜漁協及び漁業者へ周知を図ることで、漁業者のIoT活用について進めていく。同時に会議などで聞き取りを行い、ニーズの模索を継続する。 ※これまでの事業進捗状況を踏まえると、水産DXについては漁業者の関心度にバラつきがあり、漁法によって活用できるものが限定されることから、対象となりそうな【漁協及び漁業者】と【水産DX関連企業】の間に市が入り、漁業者のIoT活用を推進を図る。	△:遅れている	【農業】 現在の経営支援について、新規の取り組みは行っていないものの、認定農業者を対象とした5年ごとの経営改善計画の策定支援を継続している。具体的には、向こう5年間に予定している耕作地の拡大や新規機械の導入といった今後の展望を丁寧に聞き取り、それぞれの状況に合わせた経営計画を立てるサポートを行っているほか、定期的に経営改善セミナーなどの講座を開催している。 【漁業】 ・水産DXに関連する最新機器類の情報収集を行い、適宜漁協及び漁業者へ周知を図ることで、漁業者のIoT活用について進捗を図った。今後も引き続き情報収集を行うとともに、状況に応じて、県と情報共有を行い、ニーズの模索を継続する。 ※国のスマート水産業普及推進事業を活用し、これまでに5業者が高性能計測器やAI給餌器の導入を行っている。	【農業】 担い手の減少に加えて、対象となるほとんどの農家で既に導入が完了しているため、今後の伸び悩みが見込まれる。さらに、農業者の高齢化や経営難といった問題だけでなく、近年の物価高騰や資材不足といった環境の悪化も、新しい機器の導入を阻む深刻な要因となっているため。
3	安心・安定して生産できる環境の整備	○:予定どおり		【鳥獣】 令和6年度までに開発したデバイスを現地で検証する。 【赤潮監視装置】 令和6年度は、長崎県内において過去最大の赤潮被害(約15億円)が発生。6月から8月上旬にかけて佐世保市周辺海域においても有害赤潮が発生したが、監視装置があることにより対策の初動が迅速化され、県内他域と比較し、被害抑制が図られたことから、引き続き設置する。	△:遅れている	【鳥獣】 令和6年度まで市負担金による共同研究として開発してきたIoTわなデバイスについて、令和7年度は現地実証を継続したが、成獣のイノシシが箱わなに入らず、現地での性能検証が十分に進まなかった。一方で、研究室内では、小型動物では作動せず、大型個体相当では作動することが確認されており、デバイス自体の基本性能には一定の見通しがある。 【赤潮監視装置】 データ活用による早期対応の有効性が確認され、補助制度を使って漁協主体で2基導入された。	実証対象となる成獣イノシシが箱わなに入らなかったことである。加えて、昨年度から今年度にかけてイノシシの捕獲頭数自体が大きく減少しており、ベテランの猟友会員でも捕獲しにくい状況が続いている。 研究室レベルでは有効性が確認されているものの、現地での実績は得られていない。そのため、引き続き検証を行っていく。

R7年度の目標(総括)	R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)
○「子育てに関する手続きや相談」「窓口対応」「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議・検討を行った上で、最適な手段・対応を検討する。	○「子育てに関する手続きや相談」「窓口対応」「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議結果を踏まえ、取組を進めた。

R7年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	○:予定どおり	オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。 オンライン申請率の向上に向けて検討する。	○:予定どおり	実績/予定＝93.75％であり概ね達成と評価		
2 地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	○:予定どおり	①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。 ②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、専門的な知識・ノウハウも必要であり検討していきたい。	○:予定どおり	引き続き、オンライン申請を活用し、効率化を推進したい		

R7年度の目標(総括)	R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)
3D都市モデル上に整備したデータを重畳し、公表を進め、民間利用を促すとともに、行政内部における3D都市モデルの幅広い活用を図る。	3D都市モデル上に整備したデータを重畳し、公表を進め、民間利用を促すとともに、行政内部における3D都市モデルの幅広い活用を図る。

R7年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	○:予定どおり	R6までに取得したGPSデータやAIカメラで取得した人流データを活用しながら策定した夜店公園の整備計画に基づき、設計及び改修(まちなかウォークアブル推進事業)に取り組む。 なお、R7、8年度においては、夜店公園の改修期間となることから、GPSデータやAIカメラによる人流データ取得は行わない。	○:予定どおり	R6までに取得したGPSデータやAIカメラで取得した人流データを活用しながら策定した夜店公園の整備計画に基づき、設計(まちなかウォークアブル推進事業)に取り組んだ。 なお、R7、8年度においては、夜店公園の設計・改修期間となることから、GPSデータやAIカメラによる人流データ取得は行わない。		
2 3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	○:予定どおり	各種施策における課題解決に向けて、構築した3D都市モデルの利活用の庁内展開を引き続き図る。	○:予定どおり	各種施策における課題解決に向けて、構築した3D都市モデルの利活用の庁内展開を引き続き図る。		
3 データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	○:予定どおり	国土交通省WEBサイト「PLATEAU View App」で都市計画関連情報を一元化しており、これを活用した窓口対応を行う。また、これらの情報を公表していることを周知し、窓口対応の負担軽減を図る。	○:予定どおり	国土交通省WEBサイト「PLATEAU View App」で都市計画関連情報を一元化しており、これを活用した窓口対応を行う。また、これらの情報を公表していることを周知し、窓口対応の負担軽減を図る。		

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等や道路モニタリングの運用を行いながら、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を行う。				令和7年度は、ドローンの多目的活用や冠水状況の道路モニタリングの継続実施により、インフラ状況の迅速かつ効率的な把握を着実に進めた。また、官民連携による共同研究によりシステムを構築し、過去実績との比較による再現性確認や実データ収集など、分析・管理の高度化に向けた検証を進めた。さらに、モニタリングで取得した情報のホームページ公開を継続し、インフラ情報のリアルタイム発信にも着実に取り組んだ。		
R7年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	○:予定どおり	ドローンによる3D測量等の多目的活用を実施するとともに、冠水状況の道路モニタリングを行うことで、インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握を行う。	○:予定どおり	令和7年度もドローンの多目的活用や冠水状況の道路モニタリングを継続実施することで、インフラ状況の迅速かつ効率的な把握を着実に行った。		
2 AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	○:予定どおり	道路パトロールデータのAI分析を実施する。冠水浸水予測システムは、R6年度に引き続きモニタリングによりデータ蓄積を進めるとともに職員による冠水浸水の予測を進めながら予測システム構築の可能性について研究する。	○:予定どおり	官民連携の共同研究により、システムを構築した。そのシステムを使って、過去実績との比較による再現性確認や実データ収集など、検証段階に取り組んでいる(令和8年度継続)。		
3 インフラ情報のリアルタイム発信	○:予定どおり	道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信を継続する。今後は市民が発信情報に気づくよう、広報・普及に努める	○:予定どおり	モニタリングによって取得した情報は、ホームページで公開する運用を継続しており、令和7年度もインフラ情報のリアルタイム発信を着実に実施した。		

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応については、今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。 令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大を更に推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図っていく。				オンライン対応手続き数については、臨時給付金事務局の解散等の理由から減少となったが目標は達成した。利用件数は想定どおりには伸びなかったものの、窓口案内や広報等による周知を継続するとともに、オンライン化が見込まれる業務の洗い出しを行った。 スマートプロジェクト(RPA・AI-OCR等)については、対象業務の拡大を図り、入力の自動化等により業務効率化と職員負担の軽減を一定程度実現し、包括的支援の円滑な実施に寄与した。 今後は、令和8年度に「訪問調査におけるタブレット活用」や、国家資格等情報連携・活用システムを利用した医師等の免許申請手続のオンライン化に対応するなど、順次デジタル技術を活用した業務効率化と市民の利便性向上を図っていく。		
R7年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	気軽に相談できる窓口の構築	○:予定どおり	引き続き、オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続の拡大を図り、周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努め、市民サービスの向上を目指す。	△:遅れている	オンライン対応手続き数については、臨時給付金事務局の解散等により件数自体は減少したものの、目標は達成した。 オンライン申請利用率については目標には届かなかったが、前年度から約15%の上昇が見られ、各課における取組は着実に進展している。 今後も引き続き、窓口での受付時にデジタルツールによる申請が可能であることを周知するとともに、手続きがオンラインのみで完結できるよう見直し・検討を進める。また、各業務についてオンライン化の可否や課題を洗い出し、さらなる利用促進につなげていく。	福祉分野の利用者には、高齢者や障がい者などデジタルツールの利用に抵抗感を持つ層が多いことが想定される。また、申請時にデジタル化が困難な図面の提出や、免状など原本書類の確認が必須となる手続きもあり、現状ではオンラインのみで完結できない業務が存在する。これらの要因が、オンライン申請利用率の目標未達に一定の影響を与えていると考えられる。
2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	○:予定どおり	令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大をさらに推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図る取組みを推進する。	◎:予定以上に進んでいる	議事録AI利用実績が大きく伸び、目標を上回っている。今後も引き続き活用を続けるとともに、RPAやAI-OCR等の利用拡大の推進も図っていく。	

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
災害情報共有システムを使用し、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握することで、迅速な意思決定や応急対策を実施し、市民にも防災情報をタイムリーに配信する。 また、市民の防災意識向上のため、浸水深などをよりリアルに感じられる3Dデータを活用した啓発を実施していく。				佐世保市公式LINE、Facebook、X、登録制メールによる防災情報発信を自動化し、より迅速かつ確実な情報発信を実施した。 引き続きシステムを活用した災害情報の集約、管理に努めるとともに、南海トラフ等に関する国や県の動向を注視しつつ津波・高潮ハザードマップのシステム反映を進めていく。		
R7年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	○:予定どおり	・災害対応時にシステムを使用して気象・防災情報や被害情報など必要なデータの収集・分析を行い、迅速な意思決定や応急対策を実施する。 ・津波・高潮ハザードマップ作成にあわせて、浸水想定3Dデータの作成に着手する。	△:遅れている	津波・高潮ハザードマップの作成に併せて、浸水想定3Dデータの作成に着手することとしていたが、未実施。	長崎県が令和7年度～令和8年度にかけて南海トラフや海域活断層の詳細調査を実施するため、今年度作成予定としていた津波・高潮ハザードマップについて事業延期したことに伴うもの。
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	○:予定どおり	災害情報共有システムを使用した一括配信により、システム整備とあわせて構築する市民ポータルサイトやSNS、民間の防災アプリ等で避難情報等を迅速に多くの人に配信する。	○:予定どおり	システムの設定変更を行い、各種防災に関する情報のSNS、防災情報メール等による一括配信を可能とした。	

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
市役所に行かなくてもオンラインでできる行政手続きや各種施設の予約、オンライン相談を拡大することで、市民等がいつでも・どこでもサービスを受けることができる環境を充実させる。 また、対面での申請が必要な手続きやオンライン申請等が難しい方には、新たに「書かない・待たない窓口」を導入することで、待ち時間の短縮や書類への記入の手間を省くことで負担を軽減していく。				引き続きオンライン申請の拡大に努めていく。 オンライン申請の利用率向上のため、良い手法がないか検討しながら実施していく。 令和8年度に「書かない窓口システム」を導入により市民の利便性、職員の効率化の向上をスムーズに行えるよう検討を重ねることができた。		
R7年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	○:予定どおり	引き続き、オンラインでできる行政手続きを拡大するとともに、利用を促す広報活動・導線改善等を行うことで利用促進を進めていく。また、これまでの公共施設予約に加え、新たに学校体育館等についてオンライン予約を導入するとともに、暗証番号の入力で開錠ができるスマートロックを導入することで、利用者・学校・鍵管理者それぞれの負担軽減を図る。	○:予定どおり	オンライン申請の利用率は未だに低い傾向にある為、今後に向けて広報活動、利用率向上の手法等に力を入れていく。	
2	書かない／待たない窓口の実現	○:予定どおり	「書かない・待たない窓口」を実現するため、デジタル庁の窓口DXaaSの導入、BPRを含めて令和7年度に実施する。 なお、プロジェクトとしては、そもそも市民による申請書作成自体を無くすという方向にしたことから、当初考えていた「申請書類作成支援システム導入」と「申請の事前入力や窓口予約の実現」の2つのプロジェクトについては、「書かない窓口の導入」に発展・統合して、書かない／待たない窓口を実現することとした。	△:遅れている	システム標準化に合わせて本システムも延伸している。令和8年度の導入に向けてBPR等を含めシステム開発を実施していく。	本システムはシステム標準化の対象業務の一つである住民記録システムとの密接な連携が必要であるが、延伸となった影響を受け、本システムも合わせて延伸せざるを得なかった。 本稼働が遅れることとなったが、現状の申請方法を継続することで到達像への影響はない。
3	相談チャネルの拡充	○:予定どおり	既存システム(ツール)によるオンライン相談については、周知を行うとともに、改めて適応できる業務を洗い出すなどして対応可能な業務の拡大を目指す。また、窓口予約については対象業務の拡大を目指す。	○:予定どおり	他自治体の事例等も視野に入れつつ、本市でも活用できる手続きに関してはオンライン化していく。	

R7年度の目標(総括)			R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)				
引き続き個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口のキャッシュレス化を検討するとともに、市民アンケートの結果をもとにキャッシュレス決済利用率の向上策を実施する。 高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応としては、内容改善を図りつつ講習会等を継続実施する。 コミュニティセンターへ整備したWi-Fiについては、その環境を最大限活用して、ソフト事業の充実と積極的な取組を継続して推進する。 ホームページのリニューアル等により、情報発信の最適化を図る。			コミュニティセンターへ整備されたWi-Fiについて、利用数も安定して使用されており、今後もソフト事業の充実を引き続き継続していく。 ホームページの全面リニューアルを実施。それに際しAI自然文検索サービスの導入により、利用者の意図に即したスムーズな情報到達を実現した。また、AIイベント情報集約サイトの運用開始を通じて、情報発信の高度化と利便性向上を両立させた				
R7年度の事業総括							
進捗予定			進捗				
後倒理由・到達像への影響			【実績】進捗状況・評価・今後の対応				
目標			未達理由・到達像への影響				
1	支払いのキャッシュレス対応	○:予定どおり		個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について引き続き対応を検討するとともに、令和6年度に実施した市民アンケートの結果をもとに窓口キャッシュレス決済利用率の向上に向けた対策も併せて実施していく。	○:予定どおり	R7年度末にキャッシュレス決済対応が、原則として全ての歳入で対応可能となった。 上記対応より、キャッシュレスの利用率があがることが期待できる。 引き続き、窓口でキャッシュレスが利用可能な旨の広報を全市民向けに実施し、認知度の向上による利用率の向上に努めていく。	
2	デジタルデバйд対応	○:予定どおり		高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応としては、内容に市の提供するサービス(キャッシュレス決済等)を盛り込むなど改善を図り、引き続き講習会等を実施する。 コミュニティセンターにおいては、令和4年度整備のWi-Fi環境の利用を推進し、社会ニーズも視野に入れたソフト面の研究及び実践に努め、その活用を図る。	○:予定どおり	Wi-Fi利用数は月平均3,000件で、毎年利用件数は増加しており、市民の利便性向上に繋がる結果となった。 コミュニティセンターでの高齢者向けや障がい者向けのスマホ講座、オンライン講座についても、利用者のニーズに合った内容を探り入れる等して引き続き実施していく。	
3	情報発信の最適化	○:予定どおり		利用者が知りたい情報に「たどり着く」、知りたい情報が「分かる」ホームページへリニューアルを行う。	○:予定どおり	利用者が「知りたい情報にたどり着く」「知りたい情報が分かる」サイトを目指し、ホームページを全面リニューアルした。リニューアルに際し、AI自然文検索サービスを新たに導入し、ユーザーの意図に沿った検索結果を表示するなど検索性の向上を図った。 また、イベント情報の発信強化を目的として、AIイベント情報集約サイトを令和7年10月より供用開始し、市民の利便性および情報到達率の向上を実現した。	

R7年度の目標(総括)	R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)
アンケートによる広聴制度への意見分析を基に市民満足度を高める取り組みを進めるとともに、HPのリニューアルに合わせて、問い合わせフォームや市民の声への対応結果表示等の見直しを行う。 引き続き、庁内の業務効率化を進めていくためにスマートプロジェクト(RPA・AI-OCR)の利用拡大に取り組む。 また、引き続き、業務手順書作成システムを活用した業務可視化等により、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。 職員がBIツールを効果的に活用できるように、研修や長崎県のデジタル人材共同利用事業等を活用し、職員の育成に取り組む。 HPリニューアルに合わせて、市民が声を届けやすく、結果を確認できるよう、広聴部分の見直しを行う。	広聴システムに蓄積された市民アンケート等を各課へ共有するとともに、市民の利便性向上を目的にパブリックコメント等のフォームを変更した。なお、「市民の声」への対応結果表示の改善については、引き続き検討・研究を継続する。 BPRの効率化の一部としてRPAやAI-OCRを活用できている。 本格的にスマートプロジェクトのフローを変更したこともあり、令和8年度は案件を増やしていけるよう力を入れていく。 BIの作成支援やデータ作成ルールの庁内展開を行うなど、データ利活用の推進に取り組んだ。

R7年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 市民・事業者の意見の効果的な活用	○:予定どおり	アンケートによる広聴制度への意見分析を基に市民満足度を高める取り組みを進めるとともに、HPのリニューアルに合わせて、問い合わせフォームや市民の声への対応結果表示等の見直しを行う。	○:予定どおり	広聴システムに蓄積されたアンケート結果や各課への問い合わせ内容を分析し、広聴レポートとしてまとめ各課へ提供した。あわせて、市民の利便性向上を図るため、パブリックコメントの応募フォームやWEBアンケートフォームの変更を行った。なお、令和7年度に予定していた「市民の声」への対応結果表示の改善については、市民への分かりやすさを追求するため、引き続き検討・研究を継続する。		
2 事務作業の削減・省力化	○:予定どおり	引き続き、庁内の業務効率化を進めていくためにスマートプロジェクト(RPA・AI-OCR)の利用拡大に取り組む。 また、引き続き、業務手順書作成システムを活用した業務可視化等により、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。	○:予定どおり	RPA作成が遅れている案件もあったりはするが例年通り効率化時間は達成している。 今年度はBPRにてフローを変更したりしていたため例年に比べて案件数は減少。		
3 様々なデータを活用した業務の高度化	○:予定どおり	職員がBIツールを効果的に活用できるように、研修や長崎県のデジタル人材共同利用事業等を活用し、職員の育成に取り組む。	○:予定どおり	各課がいに伴走支援を行い、庁内におけるBI作成を促進した。併せて、データ作成ルールを庁内に展開するなど、データ利活用の推進に取り組んだ。		

R7年度の目標(総括)				R7年度の実績・評価・今後の対応(総括)			
令和6年度に選定した運用事業者とともに、昨年度に引き続き庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。スマートワーク環境を実現するため、ネットワークの構築・モバイル端末の全庁導入を完了させることに併せて、プリンタの配備見直しの検討を進める。 システム標準化については、令和7年度の更新に向けて、移行作業を行っていく。				令和6年度に選定した運用事業者とともに、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施完了した。スマートワーク環境を実現するため、ネットワークの構築・モバイル端末の全庁導入を完了させることに併せて、プリンタの配備見直しの検討を進めた。 システム標準化については、多くのシステムが令和7年度までに完了困難な「特定移行支援システム」となったため、令和8年度までの移行完了を目指して取組を進めている。			
R7年度の事業総括							
		進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	○:予定どおり		令和6年度に選定した運用事業者とともに、昨年度に引き続き庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。パソコンのモバイル/パソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備を完了する。また、プリンタの配備見直しを行う。	○:予定どおり	令和6年度に選定した運用事業者とともに、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施完了。パソコンのモバイル/パソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備を完了した。また、プリンタの配備見直し検討を実施した。	
2	自治体情報システムの標準・共通化	○:予定どおり		「基幹システムの標準化」として、令和7年度の更新のため、移行作業を行っていく。	△:遅れている	国の標準仕様に準拠した「標準準拠システム」へ移行を行うため、令和6年度より移行に対応する事業者と契約を行い、移行作業を実施している。 当初令和7年度までの移行に向けて対応を進めてきたが、多くのシステムが令和7年度までに間に合わない「特定移行支援システム」の対象となり、現在、令和8年度までに移行を行うことができるよう取り組みを進めている。	総合行政システムの標準準拠システムへの移行が令和7年10月から令和8年9月へ約1年延伸となったことから、関連する業務を所管する他の標準化対象業務もあわせて延伸することとなり、令和7年度までの対応ができなくなったもの。令和8年度までの移行に向け、事業者および担当課と調整を行い、取り組みを進めている。

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

1	データ活用による 戦略策定と観光力 強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データを活用した事業 立案数	予定			5	6	7	8	8	事業提案の際には事前に市場 調査等を行いデータに基づく 展開を行うこととしている。新 規事業の提案数として5件程 度とした。R6以降は1件ずつ増 加させ、年8件を目指す。	次年度新規事業実施に向け課題やニーズの確認、ターゲット設 定の根拠データとして活用している。 令和7年度実施事業の成果計測としても各種データを活用し事 業効果を確認する。
			実績			7	7	7				
		民間事業 者へのオー ペンデータ 提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光 関連事業者に対し、市が提供す る観光関連データ分析結果の ダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する 旅行者動向に関するダッシュ ボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを 想定	マーケティングレポートを市内事業者等へ引き続き公開並び に、メール配信を行い、同レポートの周知に努めた。 また、事業者へヒアリングを行うことで定期的にレポートの内 容を見直している。 今後も市内事業者の活用を推進するために、ヒアリングを継続 していく。
実績				13	13	13						

2	デジタルプロモー ションの推進	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		デジタル化 されたプ ロモーシ ョン件数	予定	10	15	20	20	20	20	20	SNSを利用したプロモーシ ョンは現在も 10 本程度実施 しており、今後はターゲットを細 かく設定して件数を伸ばす。	市内イベントや着地型ツアー、飲食店情報などをSNSを活用し てプロモーションを行っており、引き続き、ターゲットに応じた 情報発信を行った。
			実績	10	16	20	25	26				

3	最適な観光ルート 提示等による訪れ たい佐世保市の構 築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		観光ルート のアクセ ス数/利用 者数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	176,000	184,000	193,000	令和5年度のモデルコースのサ イト閲覧数が令和4年と比較し 5%増であったため、令和7年 度から令和6年見込みの毎年 5%増を見込む。	令和7年度は観光マイスターのほか、地元の学生等にもモデル コース作成に取り組んでもらうことで、若年層向けの情報発信の 強化に繋げた。
			実績	55,584	151,246	160,116	151,507	148,377				

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	担い手の確保・継続・育成	新規就農などオンライン・デジタルによる相談対応率	予定				100%	100%	100%	100%	新規就農者や農業参入企業のニーズに合わせて、WEB会議によるオンライン相談の活用希望があった場合は可能な限り対応する。	R7も引き続きオンライン相談を希望される新規就農者や農業参入企業等への対応を見込んでいる。
			実績				100%	100%				

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	IoT等を活用した農家数	予定	5	18	28	44	62	82	53	これまでの実績及び佐世保市農畜産物全般を対象としたスマート化・高品質化支援事業の計画 R9について、想定している品目変更に伴い数値を見直した（R9計画値102→53）	R7は新たに2戸のスマート機器が導入された。
			実績	5	18	22	32	34				
		IoTを活用した漁業者数	予定			30	40	40	40	40	漁協聞き取り	令和7年度DX推進本部審議結果を踏まえ、県内十三市水産主管者会議の本市提案議題の一つとして、各市の水産DXへの取り組み事例について照会した結果、13市中9市から導入事例の回答が得られた。その内容を見ると、多くが赤潮監視装置のような環境観測系の機器であり、漁業者個人が導入している事例は未だに少なく、漁業へのIoTの導入があまり進んでいないことが示唆された。一方で、AI自動給餌器など、遠隔で作業ができる機器については本市の他、2市で導入されており、今後普及する可能性が考えられる。
			実績			0	0	5		KPI変更		

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	安心・安定して生産できる環境の整備	IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定					3	3	3	実証実験の結果に基づき設定	実証実験の結果が得られていない。
			実績					0				
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定		1	1	3	3	3	3	設置予定台数から算出	漁協が国の補正事業を活用し2基設置している。市の設置分と合わせて合計4基設置した。
			実績		1	1	3	4				

1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	16	77	90	90	95	95	95	オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	引き続き現在の実施体制を継続する。
			実績	19	84	95	100	115				
		オンライン申請利用率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	引き続き現在の実施体制を継続する。 (実績/予定=93.75%であり概ね達成と評価)
			実績	33.4%	24.0%	46.2%	50.4%	37.5%				
		プッシュ型通知登録数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	90.0%	90.0%	90.0%	R6まで させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規交付者数(年度ごと) R7以降 させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	引き続き現在の実施体制を継続する。 (実績/予定=90.33%であり概ね達成と評価)
			実績	78.0%	46.2%	45.4%	39.1%	81.3%				

2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応相談窓口数	予定	1	2	3	3	3	3	3	相談に係る主要3事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・乳児家庭全戸訪問)	引き続き現在の実施体制を継続する。
			実績	1	2	3	3	3				
		オンラインネットワーク連携施設数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	引き続き現在の実施体制を継続する。
			実績			73	74	74				

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	リアルタイムで取得する情報の利用率	予定		100%	100%	100%	－	－	100%	人流・交通量データの利用率(リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性和有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか)	計画通りの進捗が図れている。
			実績		100%	100%	100%	－				
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定			3	3	3	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	計画通りの進捗が図れている。
			実績			3	3	3				
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	都市計画に関するオープンデータ数	予定			5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数	計画通りの進捗が図れている。
			実績			5	6	7				

【R7】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

1	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICTによる情報把握対象の土木インフラ施設数	予定		11	26	28	30	34	38	ドローンの多目的利用による情報把握施設数及び道路・河川モニタリング箇所数等	計画通りの進捗が図れている。
			実績		11	26	28	30				

2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データ分析対象の土木インフラ施設数	予定		1	1	1	1	3	5	冠水・浸水予測システムによる分析箇所数及び道路パトロールデータのAI分析施設数	計画の通り進捗が図れている。
			実績		1	1	1	1				

3	インフラ情報のリアルタイム発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイム発信チャネル数	予定				2	4	6	8	道路・河川モニタリング箇所のデータのリアルタイム発信のチャネル数(1箇所=1チャネル)	計画以上の進捗が図れている。
			実績				8	8				

1	気軽に相談できる窓口の構築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 対応手続 き数	予定	8	186	256	256	256	256	256	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	臨時給付金事務局の解散等の理由から減少となったが目標は達成した。今後も手続きのオンライン化を進めていく。
			実績	15	154	251	297	264				
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手 続き総件数(佐世保市オンライ ン申請システムのみ)	オンライン申請利用率についてはほぼ横ばいであり、対応可能なものから順次実施し、窓口等で周知をしているものの目標値を下回っている。 引き続き、窓口やホームページ等でオンライン申請を周知するなど、利用率増加を図る。
			実績	5.1%	8.0%	8.7%	15%	16.1%				
		オンライン 対応相談 窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数	対応可能なものから順次実施している。 今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。
			実績			10	10	10				

2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		AI等先進的なICTを活用する業務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業務効率化に取り組んだ業務数を設定	議事録AI利用実績が大きく伸び、目標を上回っている。
			実績	85	108	205	141	153				

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率	災害時の被害情報や気象情報、避難者数など必要な情報をすべてシステムで集約できた
			実績			100%	100%	100%				
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数	防災ポータルにより、避難情報や避難所情報を一つの画面で把握ができるようになり、16言語で発信できるようになった
			実績	10	11	11	11	11				

【R7】

重点課題 KPI の評価

02 ≪行政経営≫

01【 窓口 】行かなくてもよい待たない窓口

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 対応手続き 数	予定	134	510	1,020	1,040	1,060	1,080	1,100	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	計画通りの進捗が図れている。
			実績	134	521	1,021	1,139	1,160				
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	市民に対する周知不足のほか、利用者からは入力方法のわかりにくさや煩雑さを指摘する声があるなど、申請利用率は横ばいとなっている。
			実績	18.0%	6.6%	6.8%	9.4%	8.7%				

2	書かない／待たない窓口の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		申請書作成支援 対応手続き 数	予定					7	7	7	下記7申請書を対象とする ・住民票の写し等交付請求書・印鑑登録証明請求書 ・させば市民カード(印鑑登録証)等申請(届出)書・住民異動届・通知カード紛失届/個人番号カード紛失・廃止届・個人番号カード・電子証明書の暗証番号変更・初期化申請書・個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行/更新申請書	令和8年1月の書かない窓口システム(窓口DXSaaS)の本稼働に向け、事業者とシステムの構築を進めていたが、総合行政システムの標準化延伸に伴い本システムの本稼働開始も延伸する。可能な限り構築を進める。
			実績					0				
		申請書作成支援 対応手続き 利用率	予定					100%	100%	100%	上記申請書はすべて利用	令和8年1月の書かない窓口システム(窓口DXSaaS)の本稼働に向け、事業者とシステムの構築を進めていたが、総合行政システムの標準化延伸に伴い本システムの本稼働開始も延伸する。可能な限り構築を進める。
			実績					0				

3	相談チャネルの拡充	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 相談対応 業務数	予定			19	19	19	19	19	オンライン相談ができる窓口数	対応可能な業務を順次実施したが、業務内容によっては対応難しく目標未達。
			実績			14	14	14				
		窓口予約 対応手続き 数	予定			2	4	4	4	4	窓口予約対応手続き数 (令和5年度より実装、順次拡大)	計画以上の進捗が図れている。
			実績			4	11	10				

1	支払いのキャッシュレス対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		キャッシュレス決済利用率(財務システム)	予定		5%	6%	7%	8%	9%	10%	キャッシュレス決済利用金額／全決済金額(キャッシュレス決済対応決済手続きのみ)	広報紙や同封チラシ等により定期的に周知を図った結果、キャッシュレス決済の認知度は、令和6年度の50%から69%へ19%向上したが、利用率は4.2%と目標を達成できなかった
			実績		3.9%	4%	5.7%	4.2%				
		キャッシュレス決済利用率(窓口)	予定		20%	25%	30%	35%	40%	45%	キャッシュレス決済利用金額／全決済金額(キャッシュレス決済対応決済手続きのみ)	広報紙等により定期的に周知を図った結果、キャッシュレス決済の認知度は、令和6年度の50%から69%へ19%向上し、窓口での利用率も2.8%増加したが、目標値を達成できなかった。
			実績		10.2%	12%	15.2%	18.0%				

2	デジタルデバйд対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報発信における対応言語数	予定	4	4	4	4	243	243	243	佐世保市の外国人市民の主要言語数(英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、ベトナム語、フィリピン語)(「令和元年度佐世保市外国人市民アンケート報告書」より)	デジタル版広報させぼのサービス提供によって、広報紙については「10言語」に対応。令和6年3月に外国語自動翻訳サービスをGoogle翻訳へ切り替えたことによって、対応言語数を4言語から133言語へ拡充。さらにGoogle側の対応言語数拡張に伴い、249言語に拡充し継続中。
			実績	4	4	133	249	249				
		デジタル活用セミナー実施回数	予定	21	27	27	27	27	27	27	市が行うデジタル活用セミナーの回数	R4から実施回数が徐々に減っており、R7は目標値を1回下回っている。
			実績	30	48	45	31	26				

3	情報発信の最適化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		市ホームページのアクセス数	予定	3,920,000	4,272,800	4,625,600	4,939,200	5,252,800	5,566,400	5,880,000	市ホームページのアクセス数 (利用数＝セッション数)	令和4年度以降、市ホームページのアクセス数は減少している。令和7年度は「知りたい情報にたどり着ける、知りたい情報が分かりやすい」ホームページを目指し、リニューアルを実施。HPのリニューアルに合わせてAI自然文検索機能を追加し、サイト内における検索性を高めるなど、利用者の利便性向上を図る。また、イベント情報の発信を強化するためAIイベント情報集約サイトを令和7年10月からサービス提供を開始。
			実績	3,944,938	4,077,432	4,051,623	3,770,178	3,840,726	KPI変更			
		広報広聴アンケートの広報満足度向上	予定						87%	92%	広報広聴に関するWEBアンケートの調査結果	—
			実績									

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	市民・事業者の意見の効果的な活用	広聴システムでの満足度	予定	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合（アンケート等による）	広聴システムや車座集会等で寄せられた市民・事業者からの声や意見を施策へ反映させる仕組みづくりを進行中。
			実績	80.2%	83.6%	82.5%	83.0%	74.4%				
2	事務作業の削減・省力化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		RPA等による削減効果時間	予定	2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0	(RPA1件における平均効率化時間 50h × 利用件数 音声文字起こし AI の年間効率化時間 1,200h)	例年通りの効率化が図れてはいる。またBPRにてスマートプロジェクトのフローを一部変更。令和8年度より本格的に取り組みを行っていく。
			実績	7,055.8	5,273.2	7,089.34	7,481.53	7,868.39				
		電子決裁率	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	例年どおり、今年度も計画通りの進捗が図れている。
			実績		100%	100%	100%	100%				
3	様々なデータを活用した業務の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データの見える化対応業務数	予定			6	12	18	24	30	Power BIによるダッシュボード作成:6件／年	計画通りの進捗が図れている。
			実績			6	16	29				

1	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%	オンラインコミュニケーション利用職員数／利用可能職員数	計画よりも進捗が図れている。
			実績	60.3%	84.4%	92.6%	94.4%	95.2%				
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数量との比較)	予定	100.0%	100.0%	85.0%	85.0%	65.0%	45.0%	30.0%	各年度のA4用紙購入枚数／令和3年度のA4用紙購入枚数	一部部署の印刷枚数が急増したこと等の影響により、目標に届かなかった。
			実績	100.0%	95.1%	81.7%	80.8%	70.9%				

2	自治体情報システムの標準・共通化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		標準化対応業務数	予定					18	20	20	国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数)	総合行政システム(住民記録・税業務等)の移行延伸に伴い、戸籍及び戸籍附票を除く他の業務システムも含め、令和8年度での移行に向け取り組みを進める。
			実績					2				

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度				
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-4	コンベンション協会業務デジタル化等事業	データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。		業務観光整備件数			1	1	1	1	1	1	1	1	1		1		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-6	人流データを活用した行動分析	位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。	○	データマイニング件数			1	2	3	5	5	7	5	7	5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-7	SNSデータのAI分析による観光計画	SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。	○	データマイニング件数					3	5	5	7	5	7	5		5			○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-1	データ共有プラットフォーム	観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	13	12	13	18	13	24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-2	データ分析による需要予測	データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。		データ活用による事業立案数					5	5	6	7	7	7	8		8		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	事業者と連携した地域の観光力強化	観光1-3-1	事業者等との情報共有（データ共有プラットフォームと同様）	データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。		民間事業者へのオープンデータ提示数					3	5	5	12	7	12	7		7		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-2	デジタルパンフレット	スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。		閲覧回数			1,850	-	8,870	-	10,600	444	12,800	325	15,400		18,500		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-3	プロモーション動画を起点とした呼び込み	プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。		ホームページへの遷移数（/年）	3,920	150	4,273	702	4,626	2,088	4,939	1,379	5,253	396	5,566		5,880		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-4	デジタルマップの活用	観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。		観光ルートのアクセス/利用者数	25,000	55,584	27,500	151,246	30,000	160,116	33,000	151,507	176,000	139,109	184,000		193,000		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-5	各種商品券の電子化	各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。		アプリダウンロード数					15,000	46,061	19,500	58,219	25,400	110,136	33,000		42,900		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	メタ観光ニーズへの対応	観光3-a-2-1	AIを活用したメタ観光ルートの提供	AIの活用により、観光客の嗜好や希望条件に合わせた観光プランを提供し、多層的な観光体験（メタ観光）の提供を実現します。	○	モデルコースデータベース							30	32	60	45	90		90		…	…	○	⇒	⇒	⇒			

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度				
						PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	周遊観光の促進・最適な移動手段情報の提供	観光3-1-a-2-1		位置情報から目的地までの最適なルートを出し、各種交通・観光チケットの購入、決済までをスマホアプリ上でシームレスに実施できる環境を実現します。		モデルコースデータベース							30	32	60	45	90			90			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-2-3		旅行客オンライン購買データ解析による未来予測		データマイニング件数							1	1	3	1	5			7				○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-1-a1/2-1		IoTを活用したスマート畜産		活用率							2	0	4	0	6			9			…	…	○	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-1-a1/2-2		農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金（スマート化支援）		IoTを活用した農家数		5	5	18	18	28	22	44	32	62	34	82		102			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-1-b1/2-1		IoTを駆使した給餌管理		活用拠点数					1	3	3	3	3	3	9			12				○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-1-b1/2-2		AI活用による漁獲量向上		活用拠点数					3	0	3	0	3	0	3			3			…	○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-1-b1/2-3		データ活用による漁獲量予測		活用拠点数					3	0	3	0	3	0	3			3			…	○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-1-b1/2-2		オンラインによる直売		参加者数							14	15	15	15	16			17				○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-1-1		有害鳥獣被害防止対策	○	研究開発に係る協議回数（/年）		5	5	10	5	10	10	10	10	10	10			10			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-1-a1/2-2		赤潮監視対策事業	○	赤潮監視装置の拠点数				1	1	1	3	3	3	4	3			3			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上	子ども1-a1-1		オンライン対応可能な手続申請		手続き数		16	19	77	84	90	95	90	100	95	115	95		95			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する情報発信の強化	子ども1-b1-1		プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充	○	新規登録率 R7以降 こ・子育て世帯向けに子育てさせばっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)		50.0%	78.0%	53.0%	46.2%	57.0%	45.4%	60.0%	39.1%	90.0%	81.3%	90.0%		90.0%			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化	子ども1-2-1		オンライン申請利用率の向上		申請利用率		10.0%	12.1%	20.0%	14.0%	30.0%	29.9%	35.0%	50.4%	40.0%	37.5%	45.0%		50.0%			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標																	実施年度				
						名称	名称		PID	名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-2	オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)	母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。		相談対応事業数	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3		3		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-3	地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携	地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。	○	連携施設数					50	73	73	74	73	74	73		73		...	○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	モラル教育及びセキュリティの充実	教育1-a-1-1	フィルタリングソフトの導入	児童生徒をインターネット上や有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。		ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	教員の学びの知見の共有化	教育1-b-1/2-1	学校教育ネットワーク強化事業	通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。		ハード・ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	個別に最適化された学びの実現	教育1-c-1	AIDリルの導入	児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。		導入学校数									100%	100%	100%		100%				○	⇒		
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	校務の効率化支援	教育2-1-1	統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。		システム導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	保護者とのコミュニケーションの基盤の整備	教育3-1-1	学校・家庭間連絡システムの導入	学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。	○	活用学校数			0%	50%	70%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる人流情報の把握	都市1-1-1	(まちなかウォーカーブル推進、データ使用料)人流データの把握	携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。		取得データ種別数					1	2	2	2	0	0	0		2		○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる施設情報の把握	都市1-1-4	空き家推定ツール開発共同研究事業	空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。		確認建物数%						継続ゼンリンとの協議継続中	100%	継続ゼンリンとの協議継続中	100%	100%	100%		100%		...	○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	SNSを活用した公共施設の情報取得と解析	都市1-2-2	SNSを活用した公園管理	SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。		導入公園率(%)					100%	100%	100%	100%	100%	100	100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度				
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルの活用	都市2-1/2/3-1	3D都市モデル構築業務	建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。	○	市民対応での活用率			0%	0%	14.0%	14.0%	28.0%	33.0%	42.0%	42.0%	56.0%		70.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルを活用した計画策定の高度化	都市2-2-1	3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化	3D都市モデルを作成することで、災害リスクの検討や人流・物流のシミュレーションを行い、より高度な居住計画に資する情報の分析を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	6	6	6	6	6	9		12		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	データ一元化による土地利活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	まちづくり計画に必要なデータの一元管理	都市3-1-1	データ共有プラットフォーム	都市整備に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		統合するデータ種別数					5	5	6	6	7	7	8		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	ドローンの3D測量等多目的活用の実施	土木1-a/1/2/3-1	ドローンの多目的活用の推進	インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、関係部署との共有、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施します。		ドローン多目的利用数				3	3	4	4	5	5	6	6	8		10		○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b/1/2-1	道路冠水状況モニタリングシステム	モニタリング(カメラ・センサー)により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。	○	モニタリング箇所数					9	9	9	9	9	9	9		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサー)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b/1/2-2	河川モニタリングシステム	ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。	○	モニタリング箇所数				4	4	8	8	8	8	8	8		8		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標																			実施年度				
				名称	名称	PID	名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-0-1/2-3	ウェアラブルカメラの活用	ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。	ウェアラブルカメラ利用時間(h)				200	50	280	260	360	50	440	100	520		600			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-0-1/2-4	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールの動画活用システム	道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。	道路パトロール利用率				75.0%	75.0%	77.5%	77.5%	80.0%	80.0%	82.5%	100.0%	85.0%		90.0%			○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-1	冠水・浸水予測システム	道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。	冠水・浸水箇所の分析箇所数												2		4			…	…	…	…	○	⇒	
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-2	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析	道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。	道路パトロールデータ分析率				75.0%	36.5%	77.5%	77.5%	80.0%	80.0%	82.5%	100.0%	85.0%		90.0%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-3	WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。	WEBアプリケーション等による通報件数						630	70	660	90	690	150	720		760			…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	情報分析に基づくインフラ管理の高度化	土木1-0-3/2-3-1	データ共有プラットフォームによるデータ管理	土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。	データ種別数											1	3	2		3				○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	インフラ情報のリアルタイム発信	市民へのインフラ情報のリアルタイム発信	土木3-1/2-1	ホームページ等による情報のリアルタイム発信	ライブカメラの映像等をホームページ等でリアルタイム発信を実現します。	リアルタイム発信のチャネル数						0	0	2	8	4	8	6		8			…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度				
						PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上	保編1-a-1-3	オンライン相談	介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。		オンライン相談窓口数					15	10	15	10	15	10	15				15			...	○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉に関する情報発信の強化	保編1-a-2-2	ナッジ理論を活用した健診の推奨	長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。		通知勧奨実施回数					1	2	2	2	2	2							...	○	⇒	⇒			
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の担い手である職員負担の軽減及び市民サービスの向上	保編2-b-1-1	訪問調査におけるタブレット活用	生活保護業務の訪問調査において、タブレットを活用して資料説明や情報入力を実施します。		タブレット導入数											13			13			...	...	...	○	⇒		
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保編2-b-1-2	電子審査会の推進	介護認定審査会をオンライン開催し、場所にとられない会議を実現します。		予定しているWEB会議の開催率				100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%				100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保編2-b-2-2	AI-OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	受領した書類の入力作業をRPAやAI等に行わせ、職員はエラーチェックや確認作業のみを行うことで負担軽減を図るもの。	○	活用数							2	2	2	2	2		2			...	...	○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理課	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-1	災害情報共有システム導入	災害時の各部局の被害情報を、災害対策本部でリアルタイムに集約し、一元管理できる環境を実現します。	○	情報集約対象のシステム化率				0%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%			○	○	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理課	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-2	対災害SNS情報の取得・分析	SNSの投稿内容を分析し、指定エリアの被災状況やリスク情報のリアルタイムな可視化を実現します。		分析結果活用率				100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理課	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	データ分析に基づく防災計画などの策定	防災1-2-1	3Dデータを活用した防災の周知	防災に対する意識向上を図るため、3Dデータを活用したシミュレーション動画の配信を実施します。		利用率(利用者数)					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理課	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-1	旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信	自然災害時において、旅行者がより正確な情報収集を可能にできる環境を実現します。		防災アプリによる情報発信率					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理課	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	市民一人一人に合わせたタイムリーな情報発信	旅行者、外国人向けの防災情報の発信	防災2-2-2	ポータルサイトでの外国人向け情報発信	市民ポータルサイトでの多言語配信により、外国人に合わせた情報発信を実施します。		多言語による情報発信率					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化	窓口1-1-1	(オンライン申請推進事業)全庁的な手続きオンライン化の推進	汎用電子申請システムやびつたりサービスを利用し、庁内の手続きをオンライン化します。	○	オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040	1,139	1,060	1,160	1,080		1,100			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標																			実施年度					
						名称	名称		PID	名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
行政経営		窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化		窓口1-1-2	(オンライン申請推進事業)自治体オンライン化推進事業	国が提供するびったりサービスと自治体が管理する基幹システム(マイナンバー利用系)をオンライン接続できるようにします。	○	オンライン対応手続き数	134	134	510	521	1,020	1,021	1,040	1,139	1,060	1,160	1,080		1,100		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営		窓口	港湾部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化		窓口1-1-3	クルーズ船入港予約システム構築	オンラインシステムによるリアルタイムでの予約状況の見える化により、クルーズ受入体制を強化します。		クルーズ客船による乗降人員数			1,566,000	2,747	1,686,000	62,258	1,806,000	346,653	500,000	541,006	600,000		750,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営		窓口	教育委員会	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	申請のオンライン化		窓口1-1-4	学校体育館等における施設予約システム・スマートロックの導入	オンラインでの学校体育館等の予約を可能とするとともに、スマートロックを導入することで、事前の鍵の受け渡しが必要となり、市民の利便性向上及び内部事務の効率化を図ります。		施設予約システム予約成立件数								500	0	6,125		6,250		…	…	…	○	⇒	⇒		
行政経営		窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	電子申請における事務処理の効率化		窓口1-2-1	電子申請と庁内システムの連携	汎用電子申請やびったりサービスで受け付けた申請データを庁内システムに連携し、内部事務の効率を向上します。									5	5	6	3	7		8		…	…	○	⇒	⇒	⇒	
行政経営		窓口	市民生活部	行かなくてもよい＆待たない窓口	書かない／待たない窓口の実現	窓口での手続きに要する時間の削減		窓口2-1-1	書かない窓口の導入	申請書等を記入せずに、窓口でヒアリング等を行い作成します。また、受け付けたデータで内部事務の効率化を図ります。		申請書作成支援対応手続き数									7	0	7		7		…	…	…	○	⇒	⇒	⇒
行政経営		窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	書かない／待たない窓口の実現	プッシュ型手続きの実現		窓口2-3-1	LINEによる一人ひとりに合った情報提供	佐世保市公式LINEからの必要に応じた特定の属性に絞り込みを行ったプッシュ通知により、市民一人ひとりが必要とする手続きへのオンライン申請など、スマートフォンで完結する各種手続きを促進し、利便性向上及び手続きの効率化を図ります。		プッシュ通知件数											26		26				○	⇒	⇒	⇒	
行政経営		窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	オンライン相談の拡大		窓口3-a-1-1	オンライン相談の拡大	現在も取組を行っているオンライン相談について、活用方法を整理し対象業務の拡大を図ります。		対応業務数	2	—	3	3	19	14	19	14	19	14	19		19		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営		窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	相談に係る待ち時間の削減		窓口3-b-1-1	相談窓口予約	相談窓口について事前予約を既存のシステム(Office365やローコードツール)を活用し実装することで、相談窓口の混雑や待ち時間を削減します。		窓口予約対応手続き数	0	—	1	3	2	4	4	11	4	10	4		4		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営		多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	財務会計システム納付書のキャッシュレス化		多様化1-1-1	(キャッシュレス化推進事業)財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入	財務会計システムで取り扱う納付書に関してキャッシュレス対応し、多様なニーズに応えます。	○	キャッシュレス決済利用率	0%	0%	5%	3.9%	6%	4%	7%	5.7%	8%	4.2%	9%		10%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営		多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	窓口(レジ)のキャッシュレス化		多様化1-2-1	(キャッシュレス化推進事業)窓口(レジ)のキャッシュレス導入	窓口での支払いに関してキャッシュレス対応のレジを導入し、多様なニーズに応えます。	○	キャッシュレス決済利用率(窓口)	0%	0%	20%	10.2%	25%	12%	30%	15.2%	35%	18.0%	40%		45%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営		多様化	財務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	個別システム納付書のキャッシュレス化		多様化1-3-1	eL-QRを活用した対象公金の拡大	既に実施済の固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)及びシステム標準化による導入が決定している市県民税(普通徴収)・国保税・後期保険料・介護保険料に加え、その他公金に關してもeL-QRを活用した公金収納に対応します。		対応システム数												7		…	…	…	…	…	○		

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度				
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	高齢者、障がい者等のデジタルデバイス対応	多様化2-a-1-1		高齢者・障がい者へのデジタル活用支援	高齢者や障がい者がオンライン申請等を活用できるよう、教育等の支援をします。	デジタル活用セミナー実施回数	21	30	27	48	27	45	27	31	27	26	27		27		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-1		広報の多言語対応拡張	広報等について対応する言語を拡張し、より幅広い外国人への情報発信を図ります。	対応言語数	4	4	4	4	4	133	4	249	243	249	243		243		⇒	⇒	⇒	○	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-2	○	(先進的ICT技術活用推進事業)AI翻訳ソフトの実証と導入	汎用的なAI翻訳ソフトを実証し、様々な業務に導入します。	翻訳機使用回数	20	38	20	47	20	11	20	35	20	14	20		20		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	市民生活部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	ネットワーク利用可能施設の拡大	多様化2-c-1-1		市内公共施設へのWi-Fi環境導入	より幅広い公共施設で市民がインターネットを活用できるようWi-Fi環境を導入します。	導入施設数	0	0	29	29	29	29	29	30	30	30	30		30		○	○	○	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-1		広報紙のデジタル化	現在紙が中心となっている広報誌をオンライン化することで幅広い要望に対応します。	アクセス数	3,920,000	3,944,938	4,272,800	4,077,432	4,625,600	4,051,623	4,939,200	3,770,178	5,252,800	3,840,726	5,566,400		5,880,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2		LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。	対応業務数	9	9	11	9	13	8	15	20	15	20	15		15		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化	多様化3-2-1		ホームページのリニューアル	利用者が知りたい情報に「たどり着く」、知りたい情報が「分かる」佐世保市ホームページにリニューアルするもの	アクセス数	/	/	/	/	/	/	/	/	5,252,800	3,840,726	/	/		/	...	...	...	○	⇒				
行政経営	多様化	行政経営	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	市民にとって必要な情報を佐世保市公式LINEからプッシュ型で案内することで市民の利便性を向上します。	多様化3-2-2		LINEによる情報発信	市民にとって必要な情報を佐世保市公式LINEからプッシュ型で案内することで市民の利便性を向上します。	プッシュ通知件数	/	/	/	/	/	/	/	/	300	347	300		300		...	...	...	○	⇒				
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	市民の声収集・活用の活性化	取組効果化1-1-1		広聴制度の見直し	現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすいためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。	広聴システム満足度	100%	80.2%	100%	83.6%	100%	82.5%	100%	83.0%	100%	74.4%	100%		100%		...	...	...	○	⇒				

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標																			実施年度				
						PID	名称		概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-1	(先進的ICT技術活用推進事業)RPAの導入と活用	RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	利用件数	25	32	32	38	35	50	38	48	41	42	44			47		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
									○	処理帳票種類	0	0	20	19	24	28	28	35	32	42	36		39		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI-OCRの導入と活用	AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	処理帳票種類	0	0	20	19	24	28	28	35	32	42	36			39		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-3	(先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用	ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。		アプリケーション開発件数	1	0	3	1	6	1	9	1	12	1	15			18		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-4	(先進的ICT技術活用推進事業)文字起こしAIによる議事録の自動化	既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。	○	処理件数(累計)	800	925	1,700	1,852	2,600	3,395	3,500	4,970	4,400	7,025	5,300			6,200		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-5	電子決裁・文書管理システム	文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。		電子決裁率	0%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-2	庶務事務システムの再構築	庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。		庶務業務のデジタル化件数	0	0	1,200	0	17,700	21,466	17,700	21,908	17,700	22,334	17,700			17,700		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-1	BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。		ダッシュボードの作成件数	0	0	0	0	6	6	12	16	18	29	24			30		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-2	DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。		本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200	1,607	1,400	3,865	1,600	758,245						○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-3	データ共有プラットフォーム			ダッシュボードの作成件数					6	6	12	16	18	29	24			30		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	庁内情報管理の高度化	業務効率化3-2-1	庁内情報の整理と配置の見直し	FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。		対応業務数 ※整理・移行を実施した業務(分類)数															○	○	○	○				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-6	業務手順書作成によるBPRの推進	業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。		手順書作成数	0	0	0	0	25	26	43	67	87	88	106			155		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒	

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト		リーディング	活動指標																			実施年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						PID	名称		概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適した環境リブレース推進 職場環境1-a-2-1		PCの台数、スペック、運用の見直し	リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達のPCのスペックや台数を見直します。		PC配布数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							</